

医療機関名	愛媛県立中央病院
施設基本情報	
所在地	松山市春日町83番地
病床数	827床(一般:824床、感染症:3床)
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
データ収集期間	2020.01.01～2020.12.31(2020年診断症例)
平均在院日数	11.8日
入院患者のべ数	194,850人
外来患者のべ数	339,215人
院内がん登録件数	2,458件
院内がん登録件数 上位3部位 (症例区分 80を除く)	大腸:341件 肺:325件 胃:244件
実務者のうち「院内がん登録実務研修」修了者	初級者1名、中級者2名(2021年1月現在)
診療科	<p>内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、 血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、 脳神経内科、漢方内科、新生児内科、 ペインクリニック内科、外科、呼吸器外科、 心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、 小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、 精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、 眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、 放射線科、救急科、麻酔科、歯科、病理診断科</p> <p>【全33科】(2021年1月現在)</p>
<p>担当医療圏： 松山圏域 八幡浜・大洲圏域</p> 	
<p>担当医療圏における患者住所の割合： 87.8%</p>	
<p>県内担当医療圏外の割合： 11.6%</p>	
<p>県外患者住所の割合： 0.7%</p>	

当院の2020年がん登録件数は、2019年と比較して2,757件から2,458件と11.2%減少しており、症例区分80を除いた件数も10.6%減少しています。特に胃・大腸・肺が大きく減少していました。

国立がん研究センターより863施設の全国のがん診療連携拠点病院等において、2020年の全登録件数は前年より約6万人減ったと発表されました。実際にがん患者数が減少したとは考え難く、新型コロナウイルス感染症による検診控えや受診控え、あるいは医療機関における内視鏡検査の制限等が影響したと考えられます。今後、がんの発見が遅れ、進行した状態で診断される患者さんの増加が懸念されます。

愛媛県において当院は大腸・肺の登録件数が多く、大腸は愛媛県全体の18.3%、肺は19.2%を占めています。

当院は全国・愛媛県全体と比較して「他施設診断・自施設治療開始」の割合が高く、治療目的で紹介される症例が多いと推測されます。

患者さんの住所は2019年と同様に、当院の担当医療圏である「松山圏域」と「八幡浜・大洲圏域」で88%を占めています。肺と血液腫瘍は担当圏外からの来院比率が他の部位より高く、これは県内の医療体制や専門医の有無によるものと考えられます。

年齢層では、60歳代において2019年から男女ともに大きく減少しており、愛媛県全体でも同様の傾向です。当院では、特に肺・大腸・乳房において減少していました。

発見経緯では、「がん検診・健康診断・人間ドック」での発見が2019年と比較して12.0%から10.9%に低下しており、特に60歳代男性・50歳代女性が減少しています。

がん治療においてロボット支援手術・放射線治療も進歩していますが、ゲノム情報に基づく薬物治療の進歩には目覚ましいものがあります。長期生存や治癒を目指して、抗がん剤・キナーゼ阻害薬・免疫チェックポイント阻害薬などの併用やシーケンスの検討、複数の診療科や多職種が参加する治療と有害事象に関する検討会を重ね、より良い医療提供を目指しています。また、当院はがんゲノム医療連携病院に指定され、四国がんセンターのエキスパートパネルに参加し症例登録も始まっています。

最適な治療を提供するため最新の医学を取り入れ、さらに総合病院、急性期病院の特性を活かしながら愛媛県のがん診療の向上に努め、患者さんに寄り添うことができる人材育成も進めていきたいと考えています。

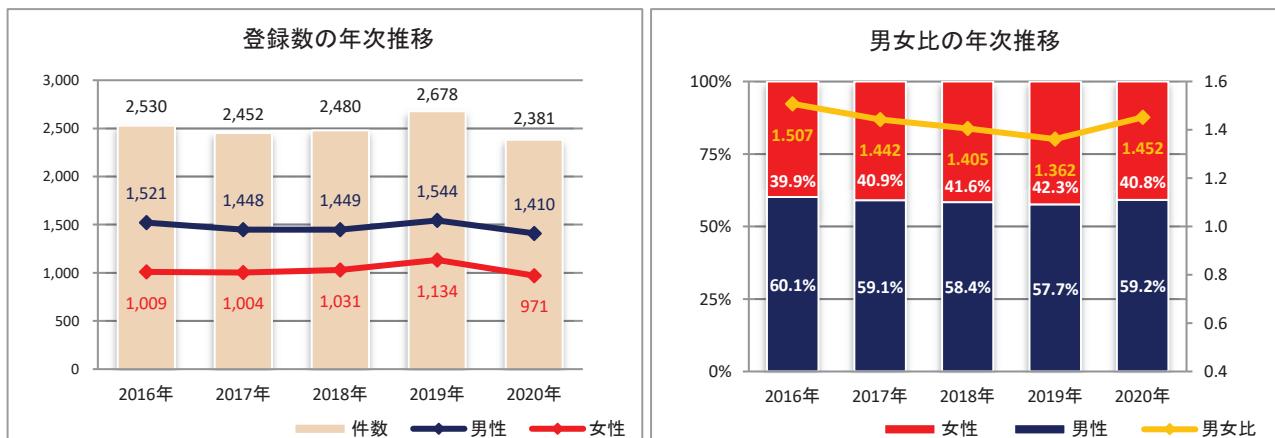
愛媛県立中央病院　がん治療センター長　　森高　智典

1. 年次推移と部位別登録数

1-1. 登録数の年次推移

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
【症例区分8.80を含む】	件数	(%)								
全体	2,820		2,676		2,540		2,757		2,458	
男性	1,696	(60.1%)	1,577	(58.9%)	1,481	(58.3%)	1,583	(57.4%)	1,455	(59.2%)
女性	1,124	(39.9%)	1,099	(41.1%)	1,059	(41.7%)	1,174	(42.6%)	1,003	(40.8%)
全体	2,530		2,452		2,480		2,678		2,381	
男性	1,521	(60.1%)	1,448	(59.1%)	1,449	(58.4%)	1,544	(57.7%)	1,410	(59.2%)
女性	1,009	(39.9%)	1,004	(40.9%)	1,031	(41.6%)	1,134	(42.3%)	971	(40.8%)
男女比	1.507		1.442		1.405		1.362		1.452	

*男女比は女性を1としたときの男性の比率



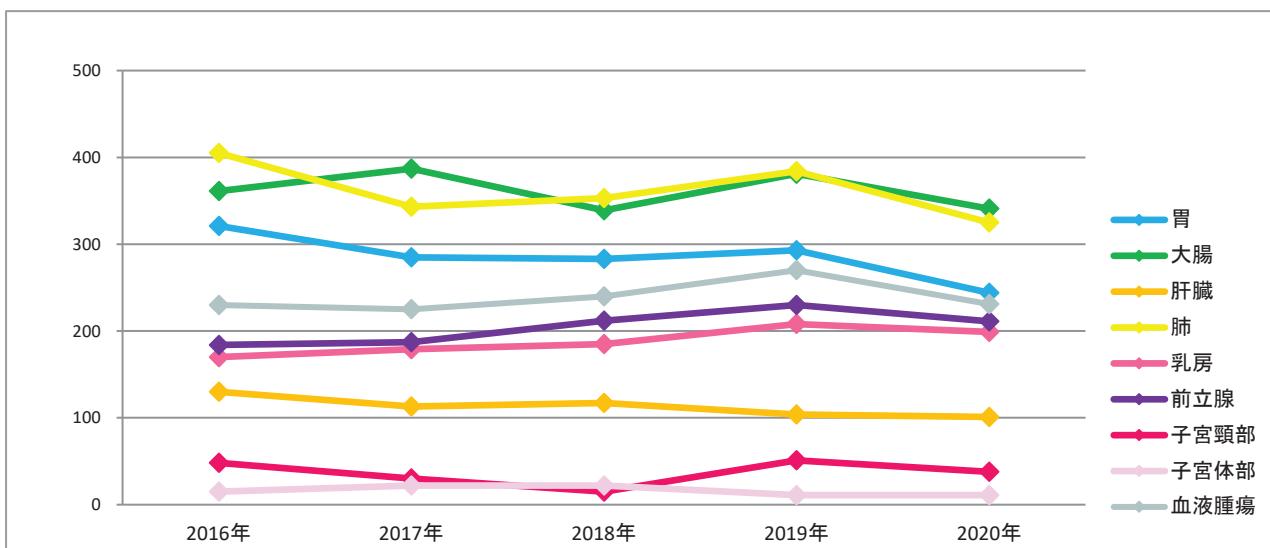
1-2. 登録数の年次推移(部位別)

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)								
口腔・咽頭	51	(2.0%)	51	(2.1%)	42	(1.7%)	53	(2.0%)	44	(1.8%)
食道	44	(1.7%)	52	(2.1%)	52	(2.1%)	55	(2.1%)	55	(2.3%)
胃	321	(12.7%)	285	(11.6%)	283	(11.4%)	293	(10.9%)	244	(10.2%)
結腸	226	(8.9%)	254	(10.4%)	232	(9.4%)	246	(9.2%)	218	(9.2%)
直腸	135	(5.3%)	133	(5.4%)	107	(4.3%)	135	(5.0%)	123	(5.2%)
肝臓	130	(5.1%)	113	(4.6%)	117	(4.7%)	104	(3.9%)	101	(4.2%)
胆嚢・胆管	54	(2.1%)	47	(1.9%)	47	(1.9%)	63	(2.4%)	53	(2.2%)
膵臓	81	(3.2%)	85	(3.5%)	112	(4.5%)	114	(4.3%)	108	(4.5%)
喉頭	13	(0.5%)	15	(0.6%)	15	(0.6%)	(4~6)	--	(7~9)	--
肺	405	(16.0%)	343	(14.0%)	353	(14.2%)	384	(14.3%)	325	(13.6%)
骨・軟部	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--	(4~6)	--
皮膚(黒色腫を含む)	43	(1.7%)	35	(1.4%)	37	(1.5%)	49	(1.8%)	38	(1.6%)
乳房	170	(6.7%)	179	(7.3%)	185	(7.5%)	208	(7.8%)	199	(8.4%)
子宮頸部	48	(1.9%)	30	(1.2%)	15	(0.6%)	51	(1.9%)	38	(1.6%)
子宮体部	15	(0.6%)	22	(0.9%)	22	(0.9%)	11	(0.4%)	11	(0.5%)
子宮	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
卵巣	16	(0.6%)	24	(1.0%)	19	(0.8%)	21	(0.8%)	22	(0.9%)
前立腺	184	(7.3%)	187	(7.6%)	212	(8.5%)	230	(8.6%)	211	(8.9%)
膀胱	86	(3.4%)	86	(3.5%)	75	(3.0%)	93	(3.5%)	76	(3.2%)
腎・他の尿路	68	(2.7%)	79	(3.2%)	75	(3.0%)	69	(2.6%)	70	(2.9%)
脳・中枢神経系	94	(3.7%)	85	(3.5%)	101	(4.1%)	90	(3.4%)	105	(4.4%)
甲状腺	58	(2.3%)	66	(2.7%)	69	(2.8%)	76	(2.8%)	52	(2.2%)
悪性リンパ腫	100	(4.0%)	101	(4.1%)	95	(3.8%)	117	(4.4%)	111	(4.7%)
多発性骨髄腫	23	(0.9%)	30	(1.2%)	35	(1.4%)	27	(1.0%)	12	(0.5%)
白血病	59	(2.3%)	60	(2.4%)	64	(2.6%)	59	(2.2%)	49	(2.1%)
他の造血器腫瘍	48	(1.9%)	34	(1.4%)	46	(1.9%)	67	(2.5%)	59	(2.5%)
その他	57	(2.3%)	53	(2.2%)	67	(2.7%)	54	(2.0%)	45	(1.9%)
合計	2,530		2,452		2,480		2,678		2,381	

*説明ポイント① 登録件数は減少した。

*説明ポイント② 当院は大腸・肺の登録件数が多い。

1-3. 部位別登録数の推移

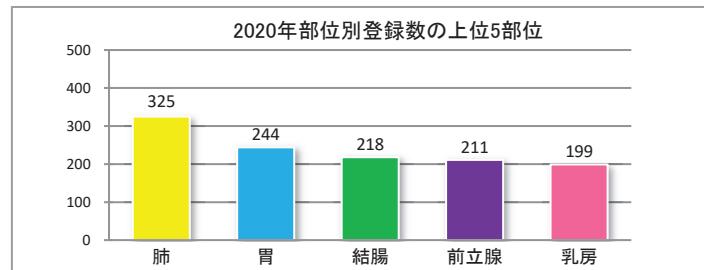


1-4. 登録数の部位別の割合



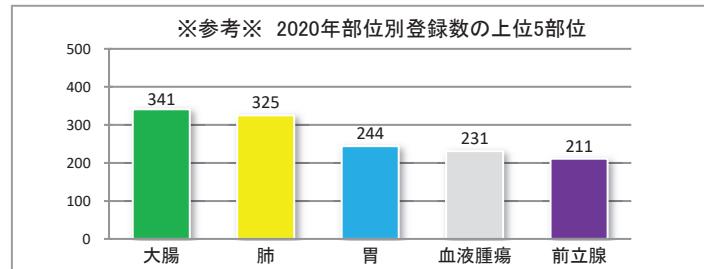
1-5. 部位別登録数の上位5部位

順位	2019年		2020年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	肺	384	肺	325
2	胃	293	胃	244
3	結腸	246	結腸	218
4	前立腺	230	前立腺	211
5	乳房	208	乳房	199



※参考※ 結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮NOSの合計を『子宮』、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・他の血液腫瘍の合計を『血液腫瘍』としてまとめた場合の上位5部位

順位	2019年		2020年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	肺	384	大腸	341
2	大腸	381	肺	325
3	胃	293	胃	244
4	血液腫瘍	270	血液腫瘍	231
5	前立腺	230	前立腺	211

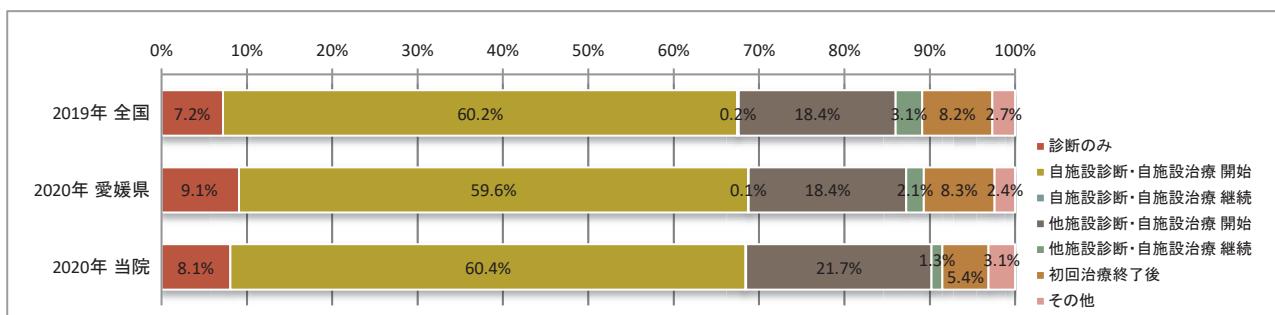


2. 症例区分

2-1. 症例区分(症例区分80を含む)

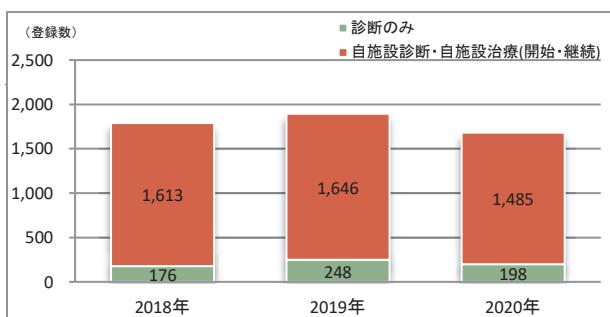
	2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	176	(6.9%)	248	(9.0%)	198	(8.1%)
自施設診断・自施設治療 開始	1,613	(63.5%)	1,644	(59.6%)	1,484	(60.4%)
自施設診断・自施設治療 繼続	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--
他施設診断・自施設治療 開始	520	(20.5%)	570	(20.7%)	534	(21.7%)
他施設診断・自施設治療 繼続	28	(1.1%)	30	(1.1%)	32	(1.3%)
初回治療終了後	143	(5.6%)	184	(6.7%)	132	(5.4%)
その他	60	(2.4%)	79	(2.9%)	77	(3.1%)

2-2. 症例区分 愛媛県全体・全国値との比較(症例区分80を含む)



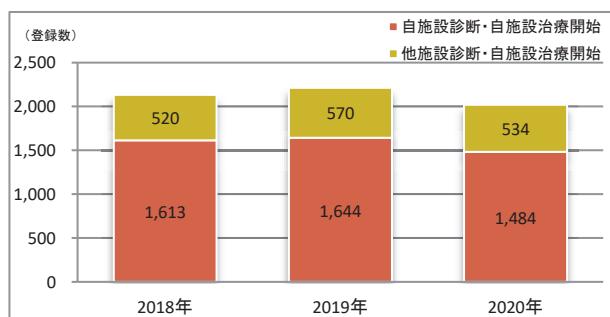
2-3. 自施設でがんと診断した症例の年次推移

(診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続)



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移

(自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始)



2-5. 2020年診断の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス(症例区分80を含む)

診断施設	自施設診断		他施設診断	
	(当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例)	(当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでにに行われていた症例)	(当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例)	(当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでにに行われていた症例)
自施設で初回治療せず	<診断のみ>	198	<その他>	57
自施設で初回治療開始	<自施設診断・自施設治療開始>	1,484	<他施設診断・自施設治療開始>	534
初回治療継続	<自施設診断・自施設治療継続>	(1~3)	<他施設診断・自施設治療継続>	32
初回治療終了後	<初回治療終了後>	0	<初回治療終了後、その他>	143
その他	<その他>	(7~9)	<その他>	0

※表中の<>は診断施設・治療施設から選択される症例区分

*説明ポイント③ 「他施設診断・自施設治療開始」の割合が高い。

*説明ポイント④ 「自施設責任症例」の割合が高い。

2-6. 自施設責任症例の割合の比較

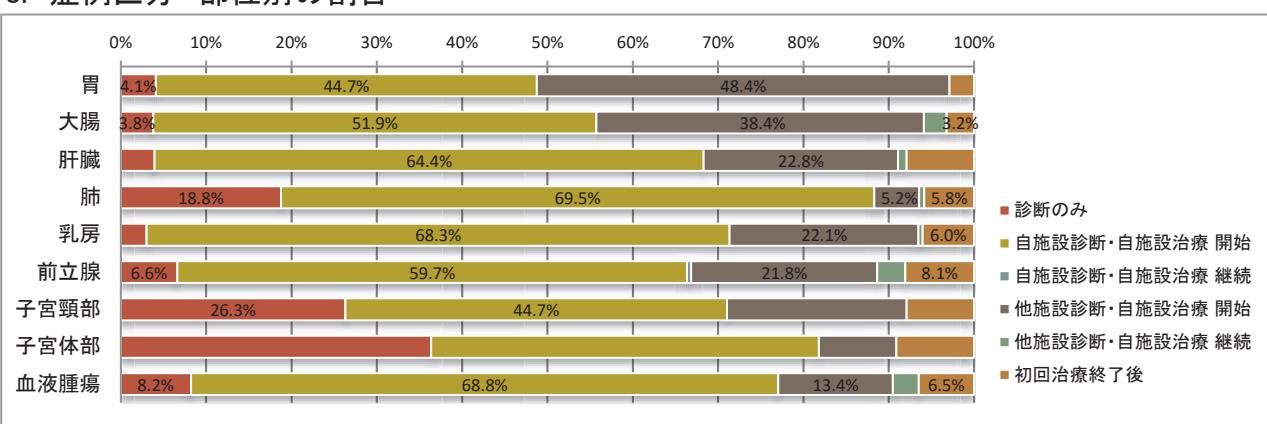


2-7. 症例区分 部位別

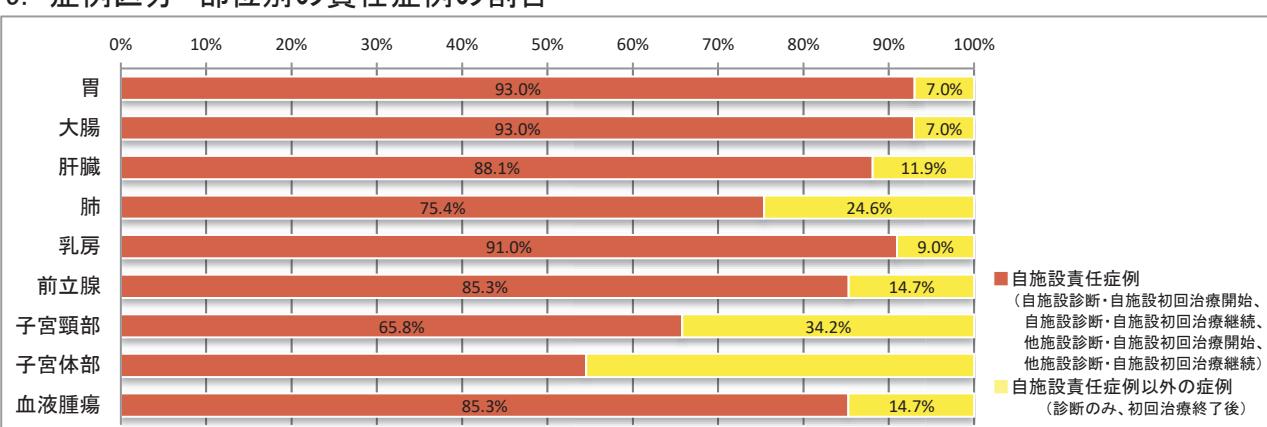
	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
診断のみ	10 (4.1%)	13 (3.8%)	(4~6) --	61 (18.8%)	(4~6) --
自施設診断・自施設治療 開始	109 (44.7%)	177 (51.9%)	65 (64.4%)	226 (69.5%)	136 (68.3%)
自施設診断・自施設治療 繼続	0 --	0 --	0 --	0 --	0 --
他施設診断・自施設治療 開始	118 (48.4%)	131 (38.4%)	23 (22.8%)	17 (5.2%)	44 (22.1%)
他施設診断・自施設治療 繼続	0 --	(7~9) --	(1~3) --	(1~3) --	(1~3) --
初回治療終了後	(7~9) --	11 (3.2%)	(7~9) --	19 (5.8%)	12 (6.0%)

	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
診断のみ	14 (6.6%)	10 (26.3%)	(4~6) --	19 (8.2%)
自施設診断・自施設治療 開始	126 (59.7%)	17 (44.7%)	(4~6) --	159 (68.8%)
自施設診断・自施設治療 繼続	(1~3) --	0 --	0 --	0 --
他施設診断・自施設治療 開始	46 (21.8%)	(7~9) --	(1~3) --	31 (13.4%)
他施設診断・自施設治療 繼続	(7~9) --	0 --	0 --	(7~9) --
初回治療終了後	17 (8.1%)	(1~3) --	(1~3) --	15 (6.5%)

2-8. 症例区分 部位別の割合



2-9. 症例区分 部位別の責任症例の割合



3. 診断時住所別

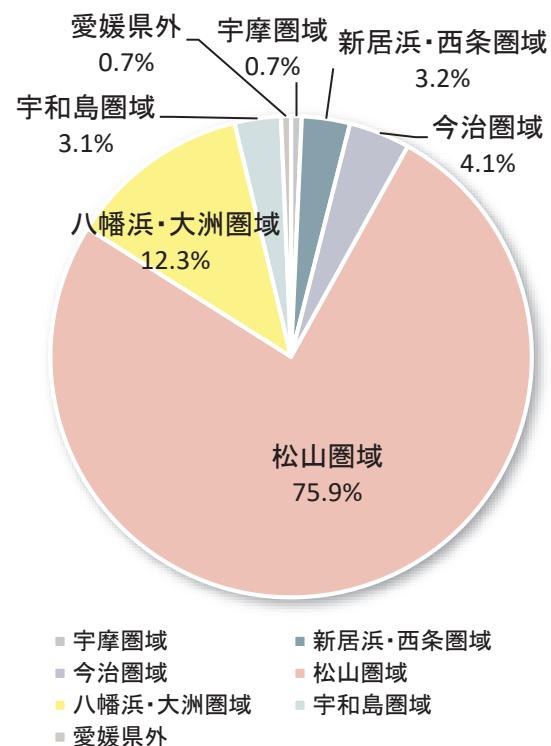
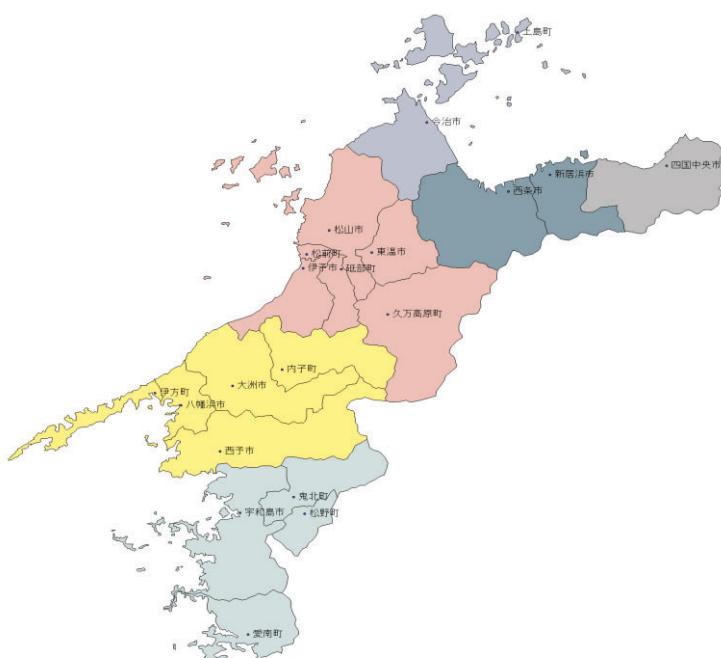
3-1. 診断時住所別

医療圏	登録数 件数	登録割合 (%)	市郡・県外	町村	登録数 件数
宇摩圏域	17	(0.7%)	四国中央市		17
新居浜・西条圏域	77	(3.2%)	新居浜市 西条市		39 38
今治圏域	98	(4.1%)	今治市 越智郡	(上島町)	98 0
松山圏域	1,807	(75.9%)	松山市 伊予市 東温市 上浮穴郡 伊予郡	(久万高原町) (松前町、砥部町)	1,417 153 17 40 180
八幡浜・大洲圏域	292	(12.3%)	八幡浜市 大洲市 西予市 喜多郡 西宇和郡	(内子町) (伊方町)	72 100 48 46 26
宇和島圏域	74	(3.1%)	宇和島市 北宇和郡 南宇和郡	(松野町、鬼北町) (愛南町)	35 (4~6) 34
愛媛県外	16	(0.7%)	高知県 香川県 徳島県 その他		(7~9) (1~3) 0 (4~6)
				合計(全登録数)	2,381

担当医療圏

全登録数に占める担当
医療圏の登録数割合
(担当医療圏登録数/全登録数)

88.2%

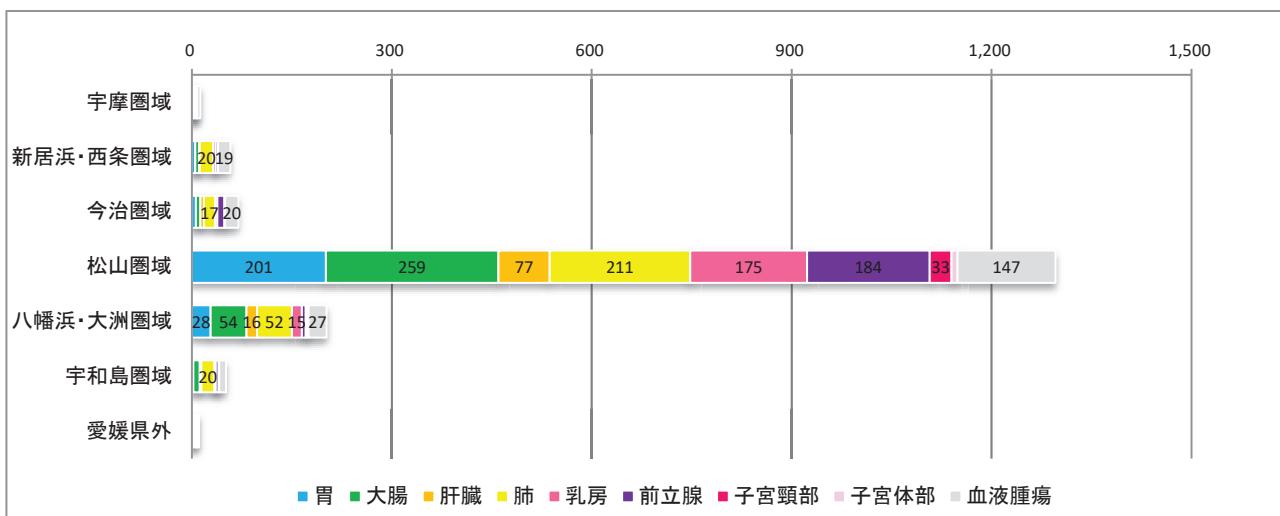


*説明ポイント⑤ 担当医療圏で約9割を占める。

*説明ポイント⑥ 肺・血液腫瘍は担当医療圏域外からの来院が多い。

3-2. 診断時住所(医療圏域)別部位別の登録数

医療圏	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数	件数							
宇摩圏域	(1~3)	(1~3)	0	(1~3)	0	(1~3)	(1~3)	0	(4~6)
新居浜・西条圏域	(4~6)	(4~6)	(1~3)	20	(4~6)	(1~3)	0	0	19
今治圏域	(4~6)	(7~9)	(4~6)	17	(1~3)	11	(1~3)	0	20
松山圏域	201	259	77	211	175	184	33	(7~9)	147
八幡浜・大洲圏域	28	54	16	52	15	(4~6)	(1~3)	(1~3)	27
宇和島圏域	(1~3)	10	(1~3)	20	(1~3)	(4~6)	(1~3)	0	10
愛媛県外	0	(1~3)	0	(1~3)	0	(1~3)	0	0	(1~3)
部位別合計	244	341	101	325	199	211	38	11	231
部位別の登録数に占める担当医療圏の登録割合(担当医療圏登録数/登録数)	93.9%	91.8%	92.1%	80.9%	95.5%	90.0%	92.1%	100.0%	75.3%



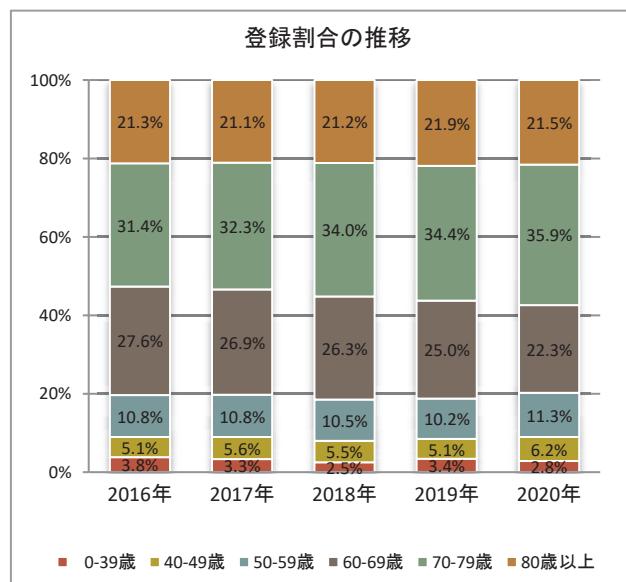
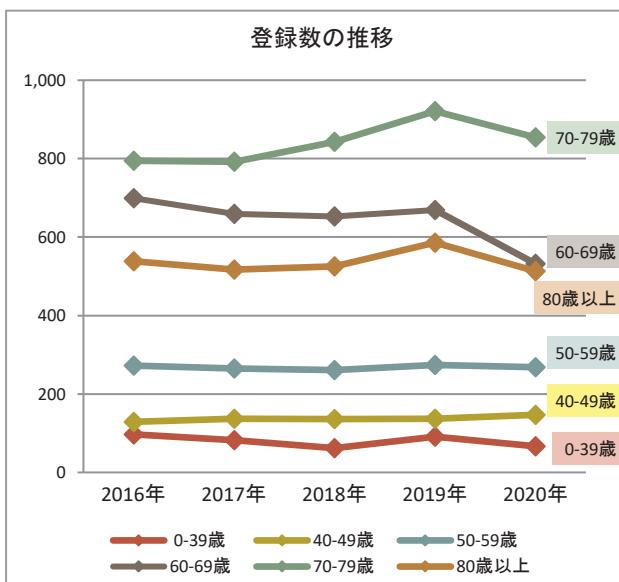
3-3. 部位別医療圏域別の登録割合



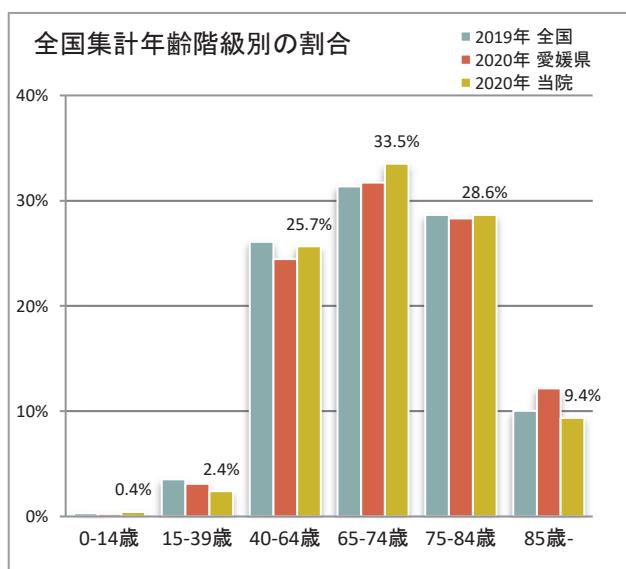
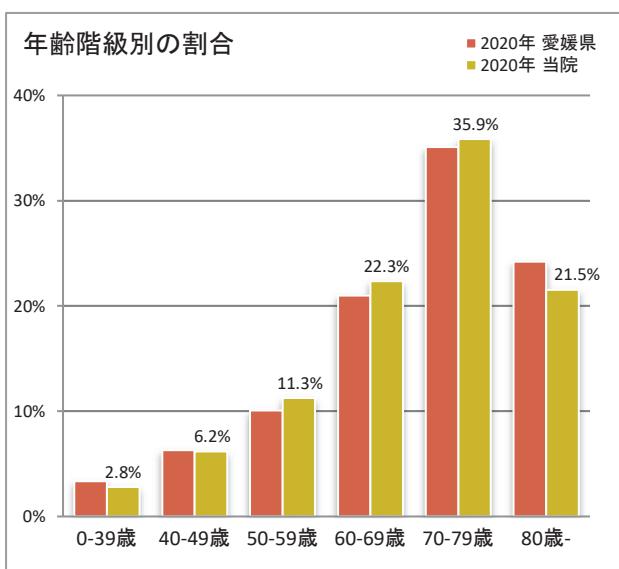
4. 年齢の割合

4-1. 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)								
0-39歳	97	(3.8%)	82	(3.3%)	62	(2.5%)	91	(3.4%)	67	(2.8%)
40-49歳	129	(5.1%)	137	(5.6%)	136	(5.5%)	137	(5.1%)	147	(6.2%)
50-59歳	272	(10.8%)	265	(10.8%)	261	(10.5%)	274	(10.2%)	268	(11.3%)
60-69歳	699	(27.6%)	659	(26.9%)	653	(26.3%)	669	(25.0%)	532	(22.3%)
70-79歳	795	(31.4%)	792	(32.3%)	843	(34.0%)	921	(34.4%)	854	(35.9%)
80歳-	538	(21.3%)	517	(21.1%)	525	(21.2%)	586	(21.9%)	513	(21.5%)



4-2. 年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較

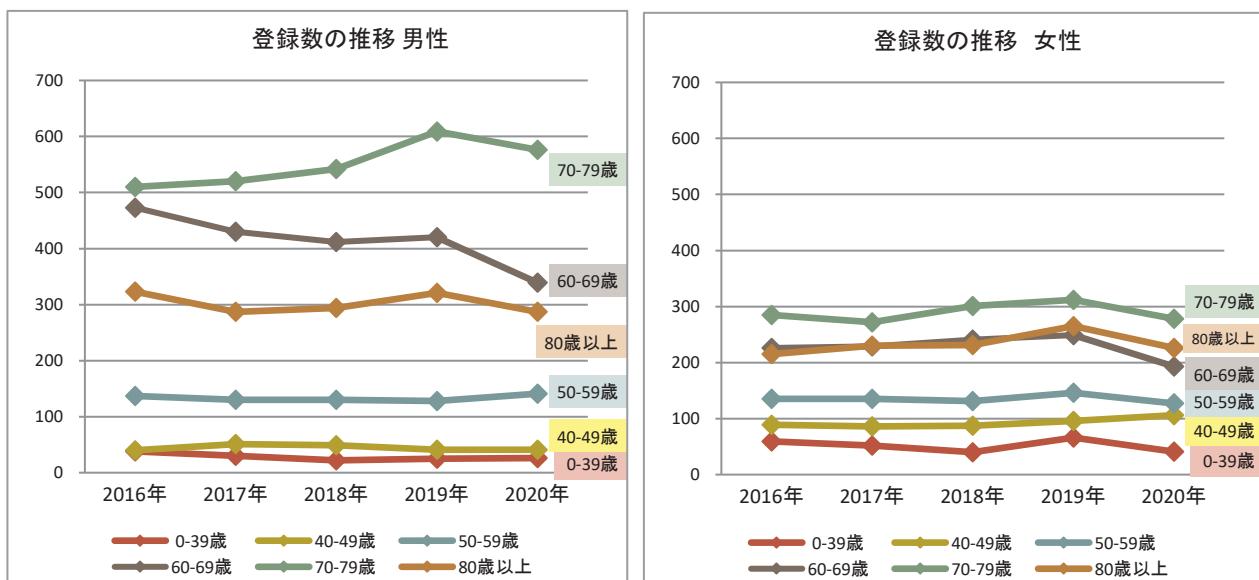


*説明ポイント⑦ 60歳代の登録件数が減少した。

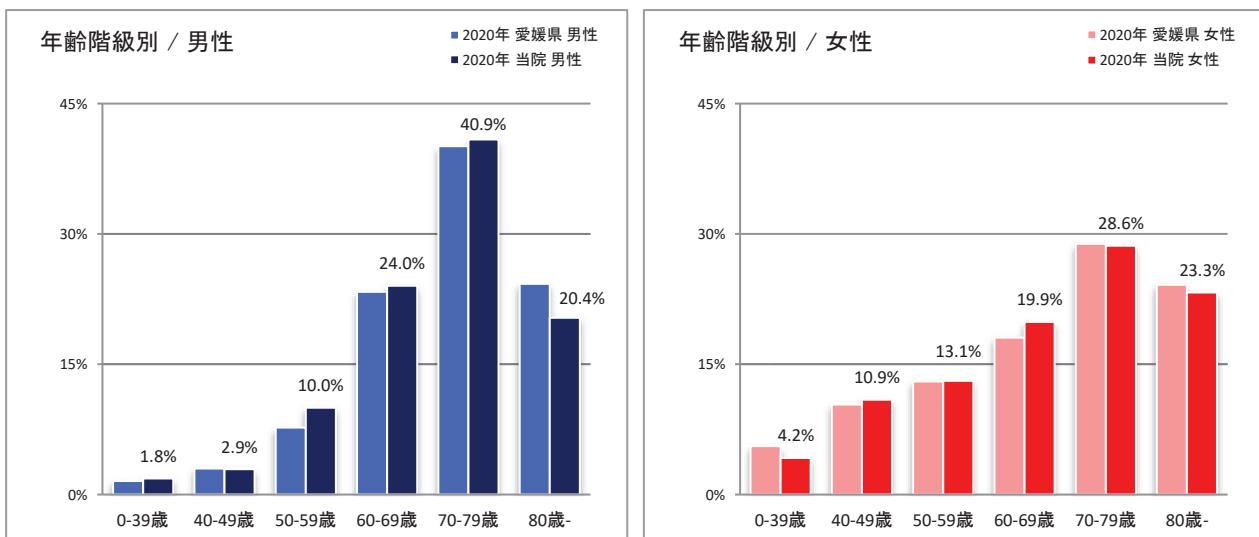
*説明ポイント⑧ 50歳代男性と40歳代女性の登録件数が増加した。

4-3. 男女別 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)								
男性										
0-39歳	38	(2.5%)	30	(2.1%)	22	(1.5%)	25	(1.6%)	26	(1.8%)
40-49歳	40	(2.6%)	51	(3.5%)	49	(3.4%)	41	(2.7%)	41	(2.9%)
50-59歳	137	(9.0%)	130	(9.0%)	130	(9.0%)	128	(8.3%)	141	(10.0%)
60-69歳	473	(31.1%)	430	(29.7%)	412	(28.4%)	420	(27.2%)	339	(24.0%)
70-79歳	510	(33.5%)	520	(35.9%)	542	(37.4%)	609	(39.4%)	576	(40.9%)
80歳-	323	(21.2%)	287	(19.8%)	294	(20.3%)	321	(20.8%)	287	(20.4%)
女性										
0-39歳	59	(5.8%)	52	(5.2%)	40	(3.9%)	66	(5.8%)	41	(4.2%)
40-49歳	89	(8.8%)	86	(8.6%)	87	(8.4%)	96	(8.5%)	106	(10.9%)
50-59歳	135	(13.4%)	135	(13.4%)	131	(12.7%)	146	(12.9%)	127	(13.1%)
60-69歳	226	(22.4%)	229	(22.8%)	241	(23.4%)	249	(22.0%)	193	(19.9%)
70-79歳	285	(28.2%)	272	(27.1%)	301	(29.2%)	312	(27.5%)	278	(28.6%)
80歳-	215	(21.3%)	230	(22.9%)	231	(22.4%)	265	(23.4%)	226	(23.3%)



4-4. 男女別 年齢階級別登録割合 愛媛県全体との比較

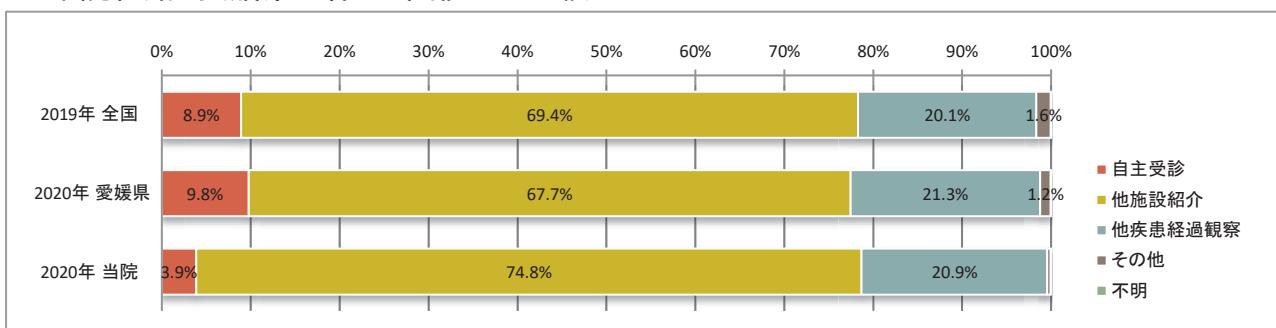


5. 来院経路

5-1. 来院経路

	2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	142	(5.7%)	145	(5.4%)	92	(3.9%)
他施設紹介	1,858	(74.9%)	2,059	(76.9%)	1,781	(74.8%)
他疾患経過観察	463	(18.7%)	463	(17.3%)	498	(20.9%)
その他	17	(0.7%)	10	(0.4%)	(7~9)	--
不明	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--

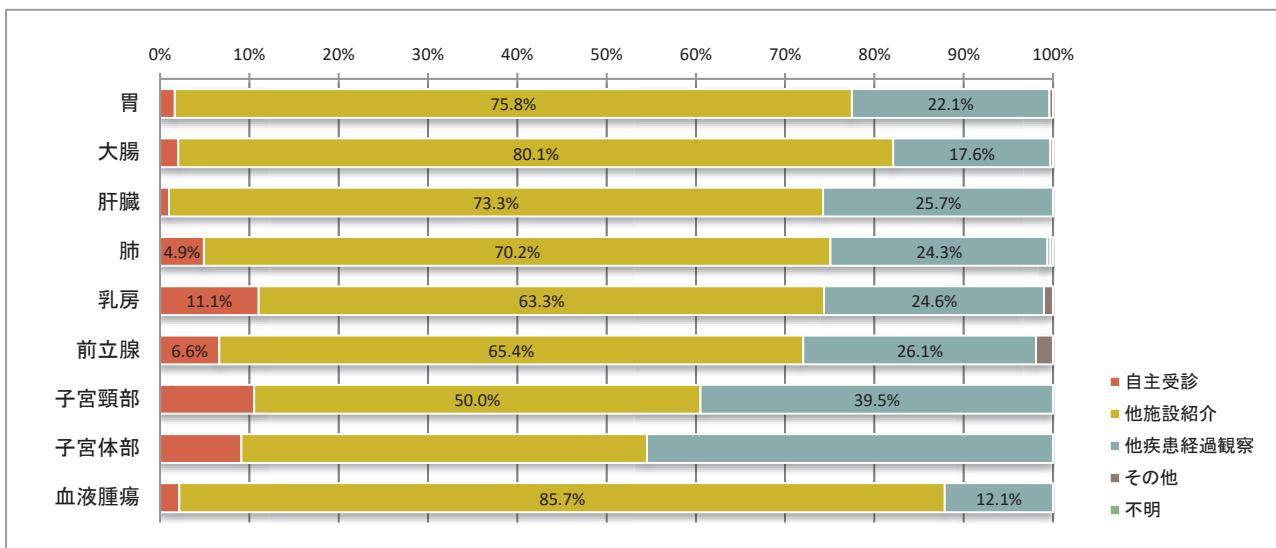
5-2. 来院経路 愛媛県全体・全国値との比較



5-3. 来院経路 部位別

	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
自主受診	(4~6) --	(7~9) --	(1~3) --	16 (4.9%)	22 (11.1%)
他施設紹介	185 (75.8%)	273 (80.1%)	74 (73.3%)	228 (70.2%)	126 (63.3%)
他疾患経過観察	54 (22.1%)	60 (17.6%)	26 (25.7%)	79 (24.3%)	49 (24.6%)
その他	(1~3) --	(1~3) --	0 --	(1~3) --	(1~3) --
不明	0 --	0 --	0 --	(1~3) --	0 --

	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
自主受診	14 (6.6%)	(4~6) --	(1~3) --	(4~6) --
他施設紹介	138 (65.4%)	19 (50.0%)	(4~6) --	198 (85.7%)
他疾患経過観察	55 (26.1%)	15 (39.5%)	(4~6) --	28 (12.1%)
その他	(4~6) --	0 --	0 --	0 --
不明	0 --	0 --	0 --	0 --



*説明ポイント⑨ 「他施設紹介」「自主受診」の登録件数が減少した。

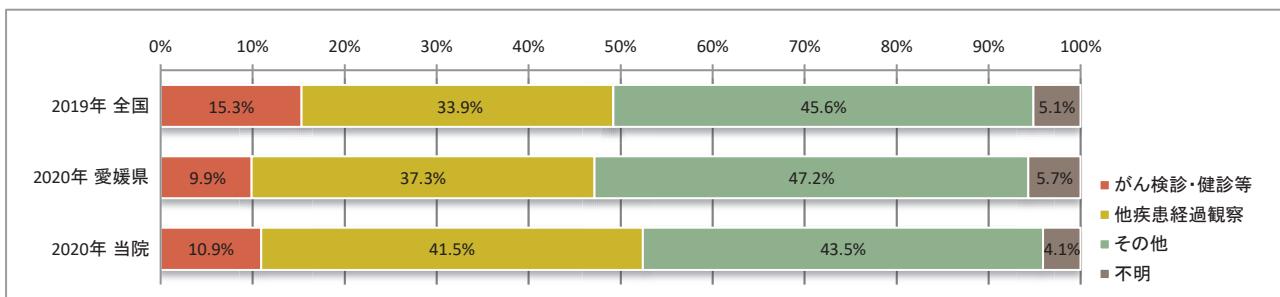
*説明ポイント⑩ 「他疾患経過観察中」の登録件数が増加した。

6. 発見経緯

6-1. 発見経緯

	2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断 ・人間ドック	262	(10.6%)	322	(12.0%)	260	(10.9%)
他疾患経過観察	996	(40.2%)	1,099	(41.0%)	988	(41.5%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--
その他	1,132	(45.6%)	1,149	(42.9%)	1,036	(43.5%)
不明	90	(3.6%)	108	(4.0%)	97	(4.1%)

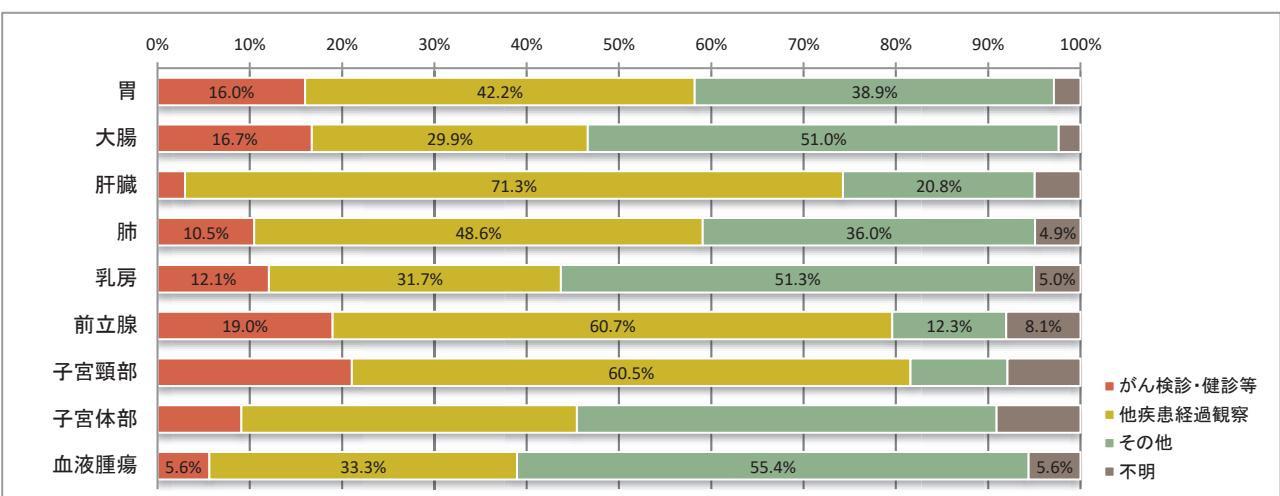
6-2. 発見経緯 愛媛県全体・全国値との比較



6-3. 発見経緯 部位別

	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
がん検診・健康診断・人間ドック	39 (16.0%)	57 (16.7%)	(1~3) --	34 (10.5%)	24 (12.1%)
他疾患経過観察	103 (42.2%)	102 (29.9%)	72 (71.3%)	158 (48.6%)	63 (31.7%)
剖検発見	0 --	0 --	0 --	0 --	0 --
その他	95 (38.9%)	174 (51.0%)	21 (20.8%)	117 (36.0%)	102 (51.3%)
不明	(7~9) --	(7~9) --	(4~6) --	16 (4.9%)	10 (5.0%)

	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
がん検診・健康診断・人間ドック	40 (19.0%)	(7~9) --	(1~3) --	13 (5.6%)
他疾患経過観察	128 (60.7%)	23 (60.5%)	(4~6) --	77 (33.3%)
剖検発見	0 --	0 --	0 --	0 --
その他	26 (12.3%)	(4~6) --	(4~6) --	128 (55.4%)
不明	17 (8.1%)	(1~3) --	(1~3) --	13 (5.6%)



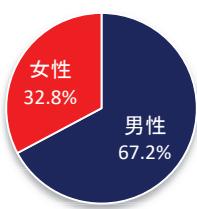
*説明ポイント⑪ 「がん検診・健康診断・人間ドック」での発見の割合が低くなった。

*説明ポイント⑫ 大腸・乳房・血液腫瘍は「その他」の割合が高く、肝臓・前立腺は「他疾患経過観察中」の割合が高い。

7-1. 部位別: 胃

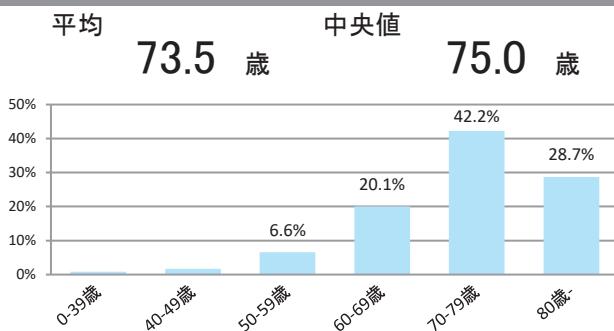
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	244
男性	164
女性	80



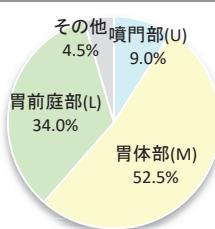
当院全登録数に占める胃がんの割合 10.2%

3. 年齢

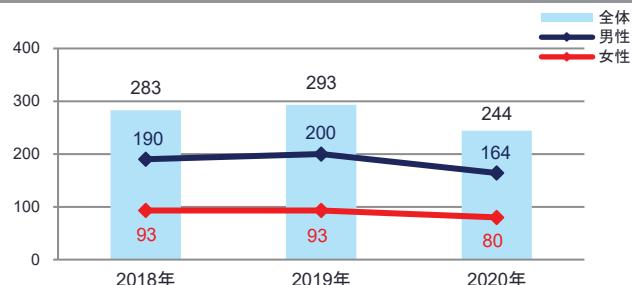


5. 詳細部位別登録数

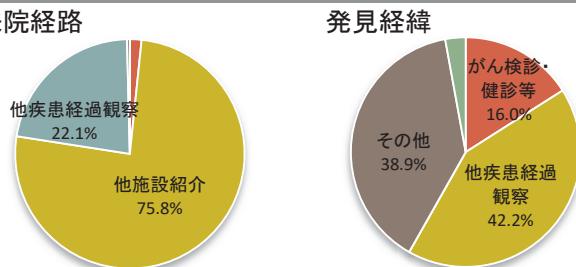
局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C16.0	噴門	19	C16.5	胃小彎	0
C16.1	胃底部	(1~3)	C16.6	胃大彎	0
C16.2	胃体部	128	C16.8	胃の境界部	0
C16.3	胃前庭部	81	C16.9	胃NOS	11
C16.4	幽門	(1~3)			



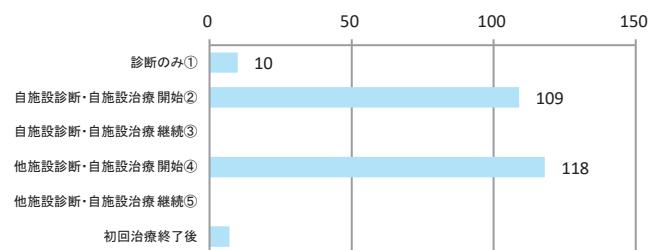
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



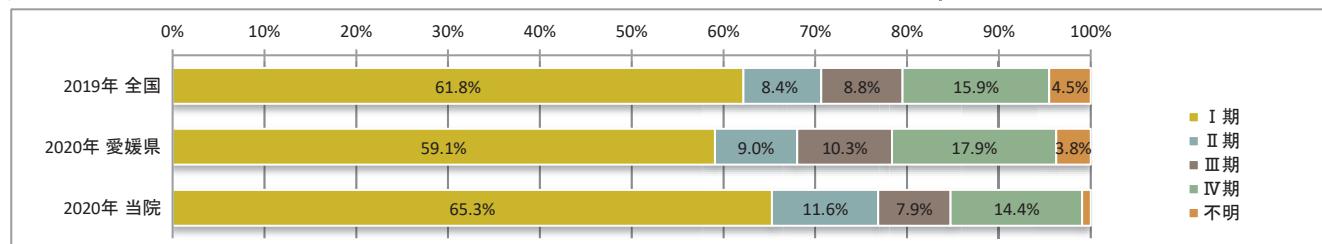
6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	227	93.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	119	48.8%

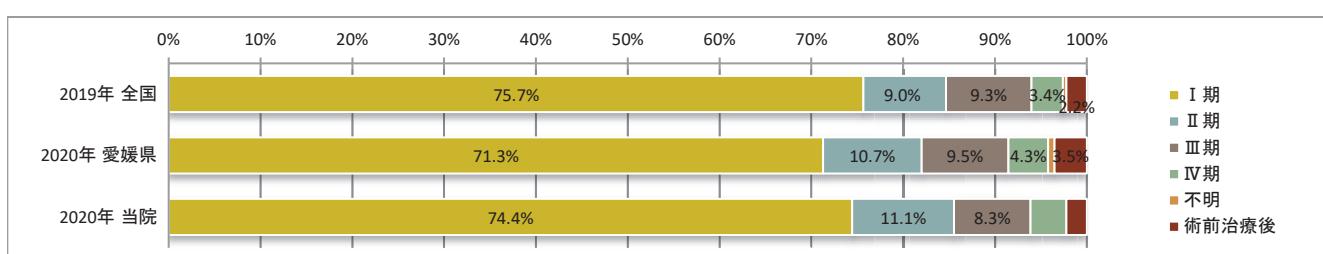
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		141	25	17	31	(1~3)	216
割合	65.3%	11.6%	7.9%	14.4%	--	--	



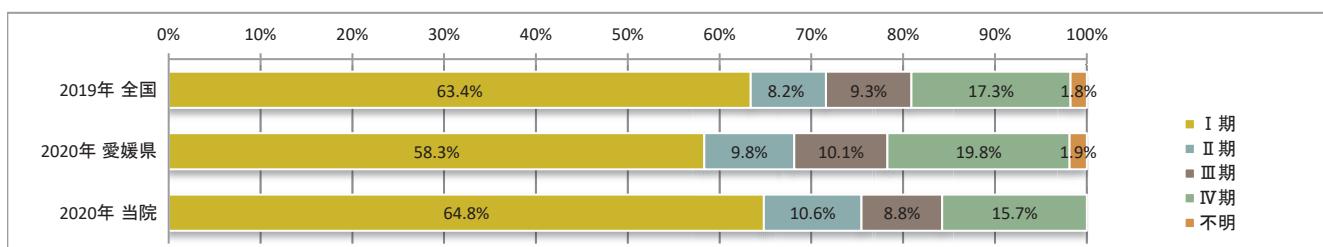
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後	合計
件数		134	20	15	(7~9)	0	(4~6)	180
割合	74.4%	11.1%	8.3%	--	--	--	--	
(他)0期	0	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明		
件数	--	--	--	--	--	--		
割合	--	--	--	--	--	--		



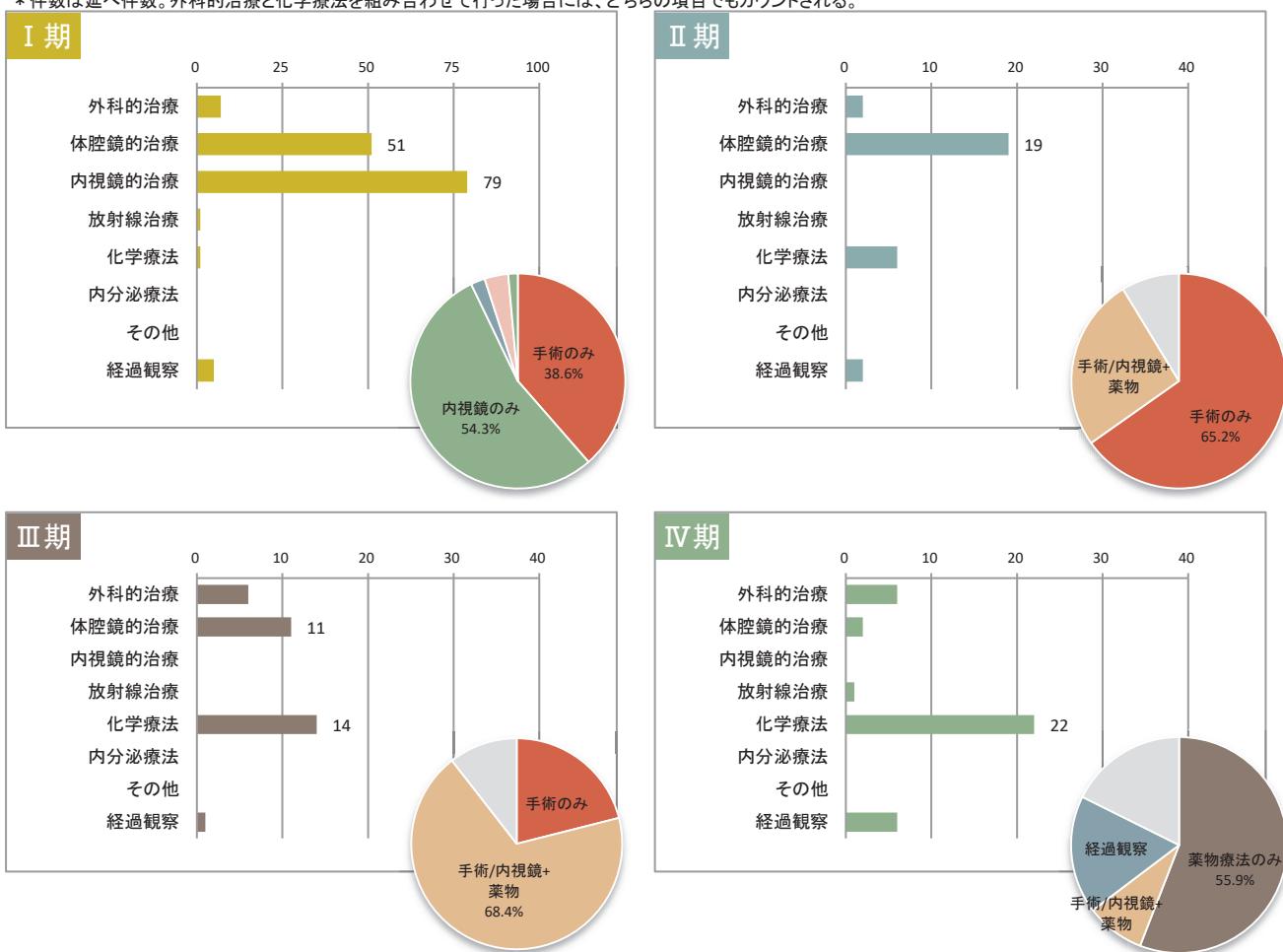
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
	件数	140	23	19	34	0	216
割合	64.8%	10.6%	8.8%	15.7%	--		



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

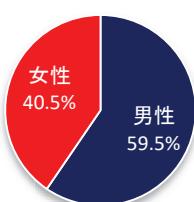
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-2. 部位別:大腸

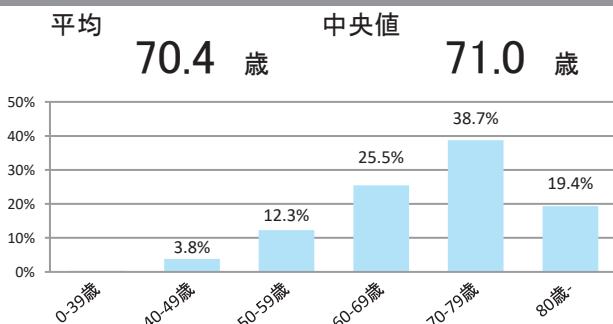
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	341
男性	203
女性	138



当院全登録数に占める大腸がんの割合 14.3%

3. 年齢

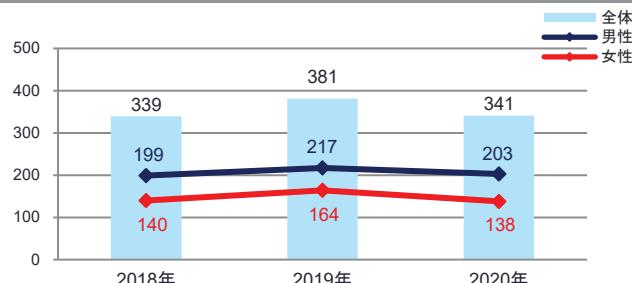


5. 詳細部位別登録数

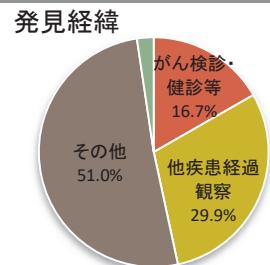
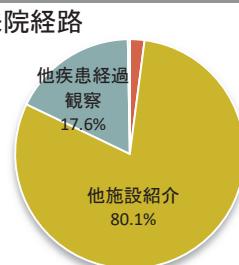
局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C18.0	盲腸	26	C19.9	直腸S状結腸	37
C18.1	虫垂	(4~6)	C20.9	直腸	86
C18.2	上行結腸	37			
C18.3	右結腸曲	0			
C18.4	横行結腸	35			
C18.5	左結腸曲	0			
C18.6	下行結腸	19			
C18.7	S状結腸	97			
C18.8	境界部病巣	0			
C18.9	詳細部位不明	0			

部位	割合
直腸	36.1%
結腸	55.1%
回盲部	8.8%

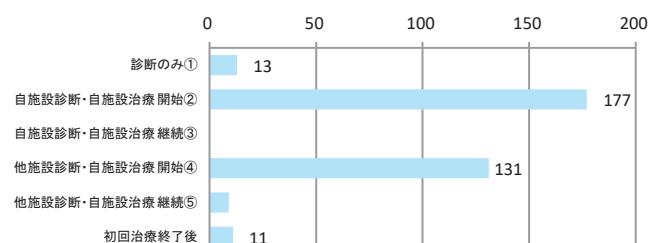
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	317	93.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	190	55.7%

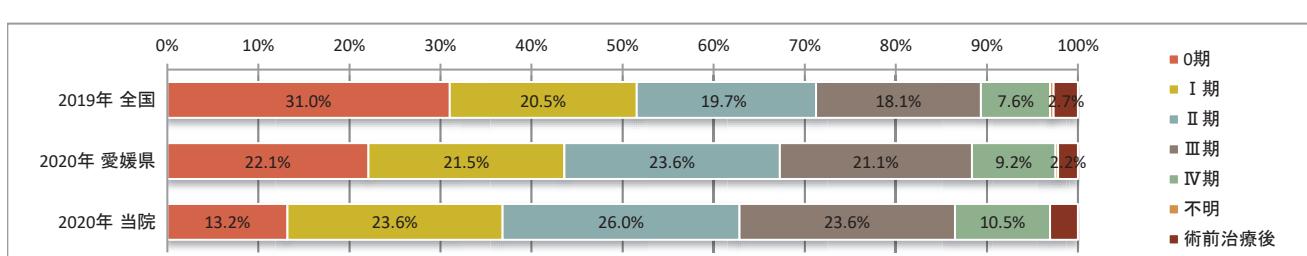
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(7~9)	94	75	55	38	38	308
割合	--	30.5%	24.4%	17.9%	12.3%	12.3%	--



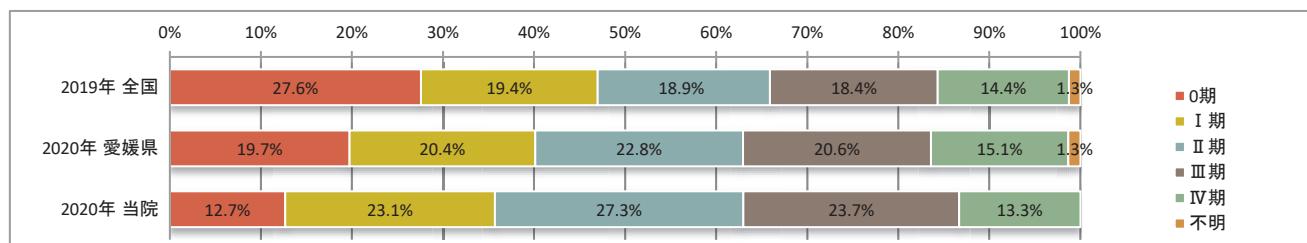
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	39	70	77	69	31	0	(7~9)
割合	13.2%	23.6%	26.0%	23.3%	10.5%	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
件数	0	0	0	(1~3)	0	0	296
割合	--	--	--	--	--	--	--



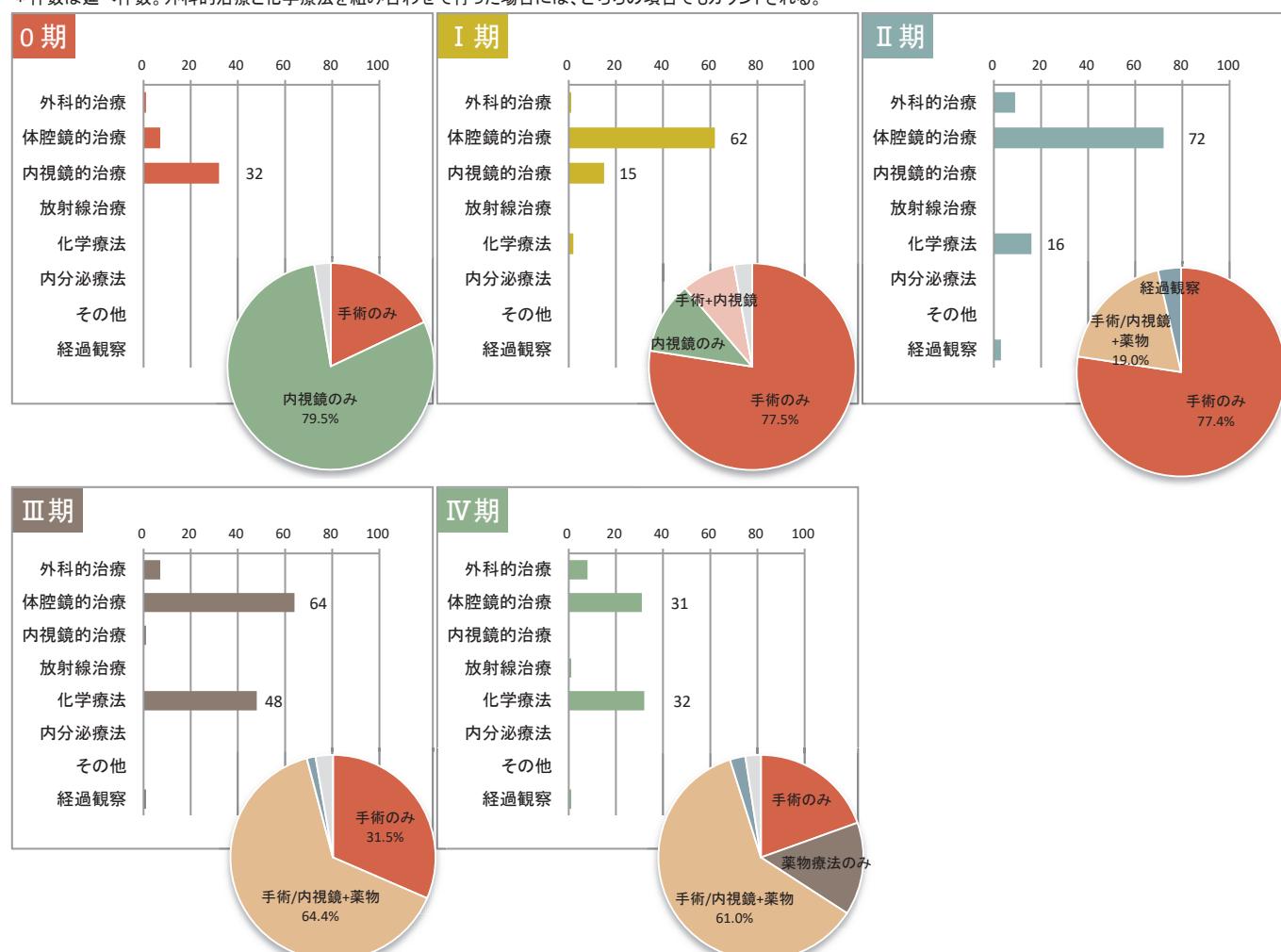
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	39	71	84	73	41	0	308
割合	12.7%	23.1%	27.3%	23.7%	13.3%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

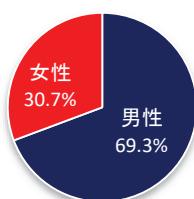
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-3. 部位別: 肝臓

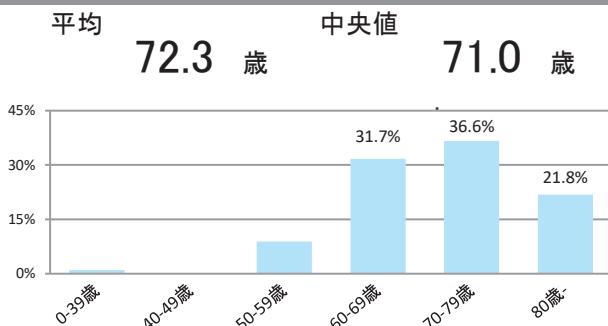
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	101
男性	70
女性	31



当院全登録数に占める肝臓がんの割合 4.2%

3. 年齢



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C220	肝	93
C221	肝内胆管	(7~9)

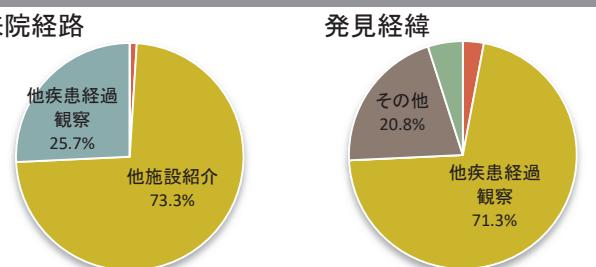
7. 病期分類対象の癌腫別登録数

局在コード	組織分類	登録数
C220	肝細胞癌	91
C221	肝内胆管癌	(7~9)

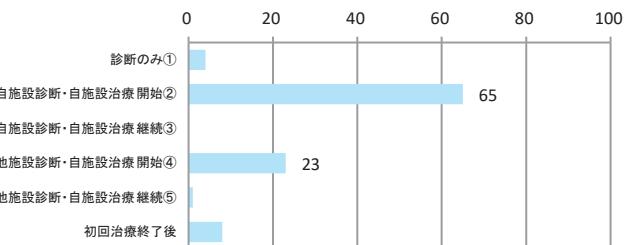
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



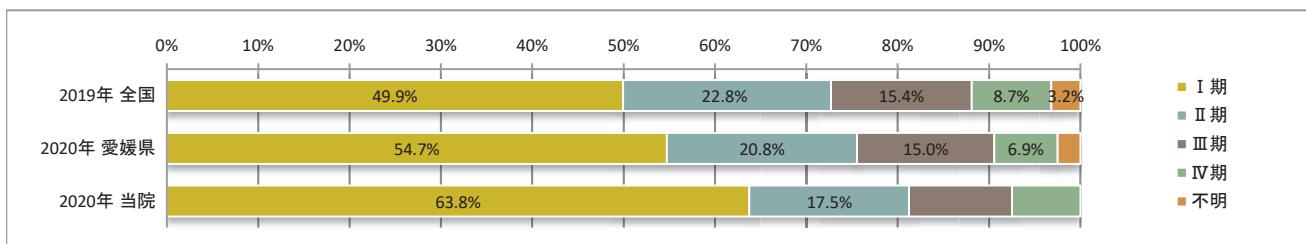
6. 症例区分



症例区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	89	88.1%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	69	68.3%

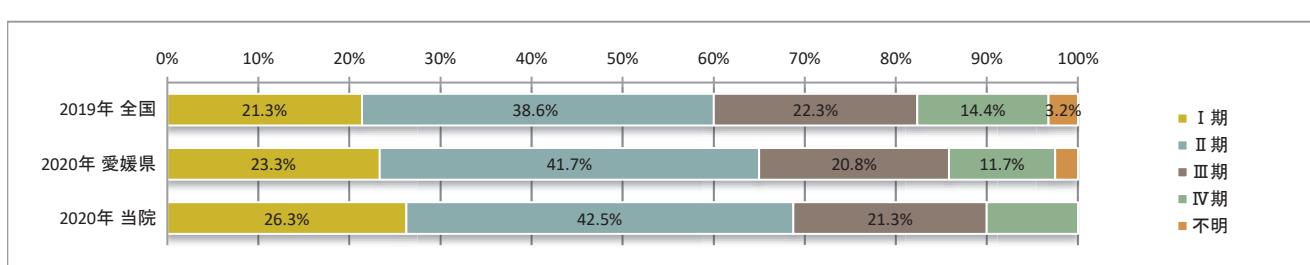
8. UICC TNM 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I 期				II 期				III 期				IV 期				不明		合計
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
		51	63.8%	14	17.5%	(7~9)	--	(4~6)	--	0	--	80								



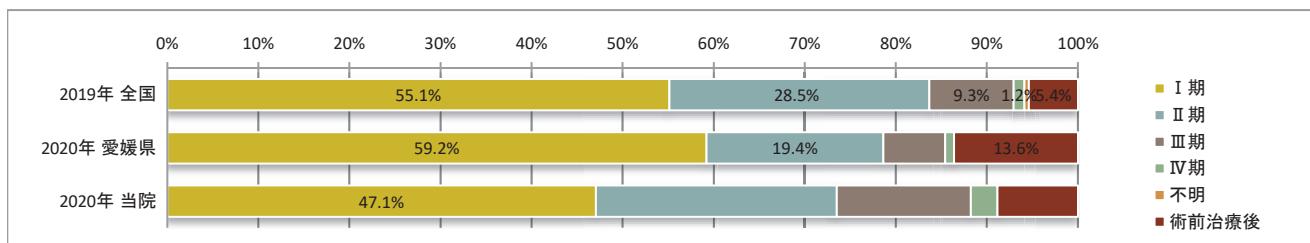
9. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設診断および初回治療実施症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I 期				II 期				III 期				IV 期				不明		合計
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
		21	26.3%	34	42.5%	17	21.3%	(7~9)	--	0	--	80								



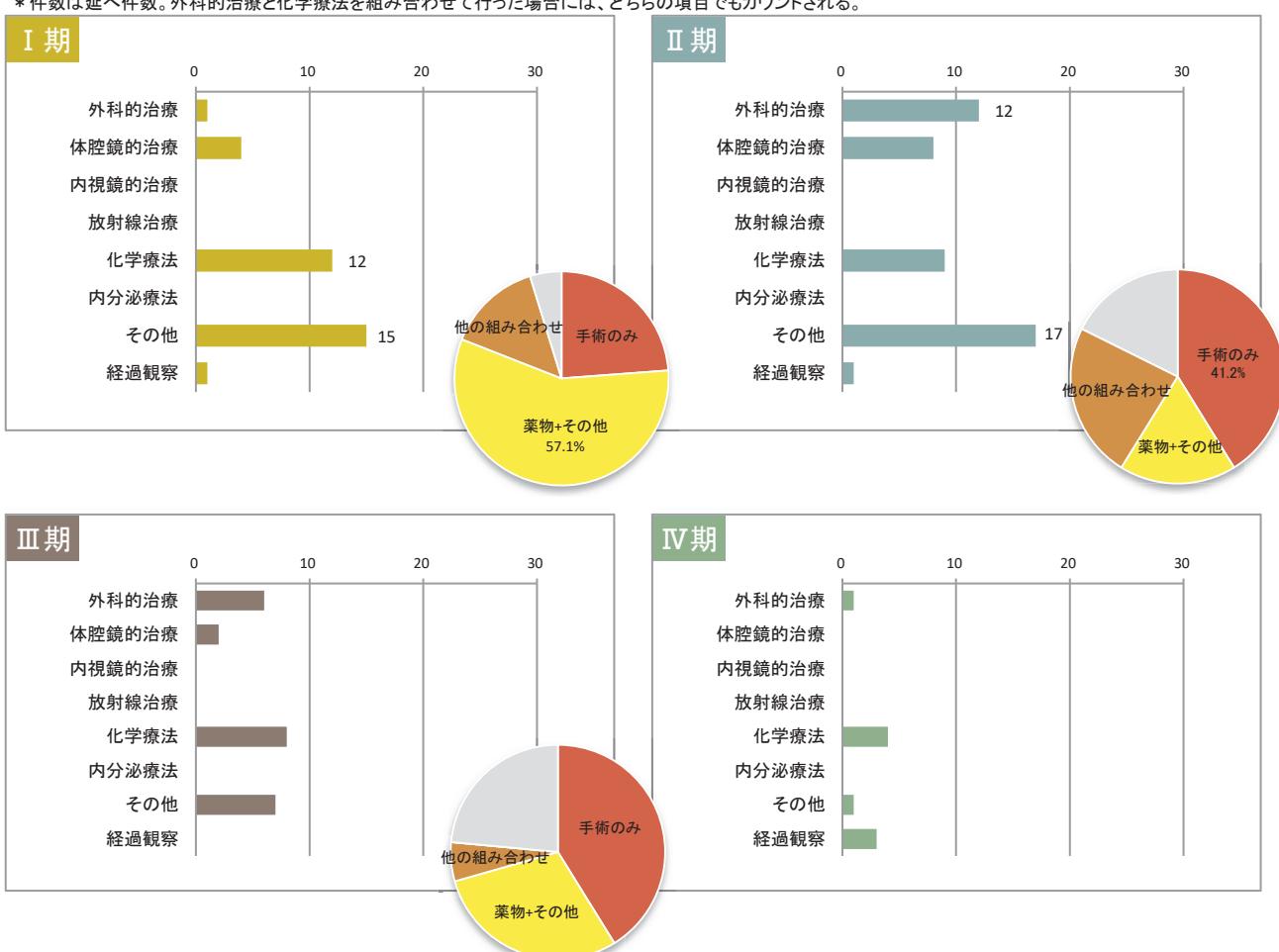
10. UICC TNM 肝細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

年	術前治療後					合計
	I期	II期	III期	IV期	不明	
件数	16	(7~9)	(4~6)	(1~3)	0	(1~3)
割合	47.1%	--	--	--	--	--
	(他) I期	(他) II期	(他) III期	(他) IV期	(他) 不明	
件数	0	0	0	0	0	34
割合	--	--	--	--	--	



11. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

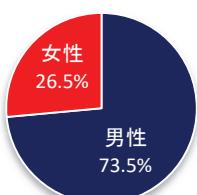
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-4. 部位別: 肺

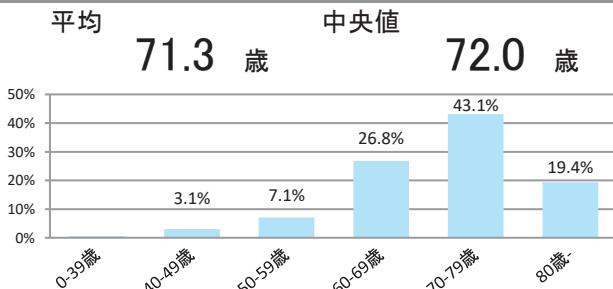
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	325
男性	239
女性	86



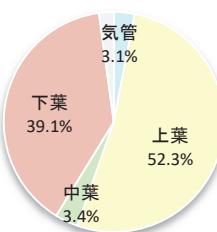
当院全登録数に占める肺がんの割合 13.6%

3. 年齢



5. 詳細部位別登録数

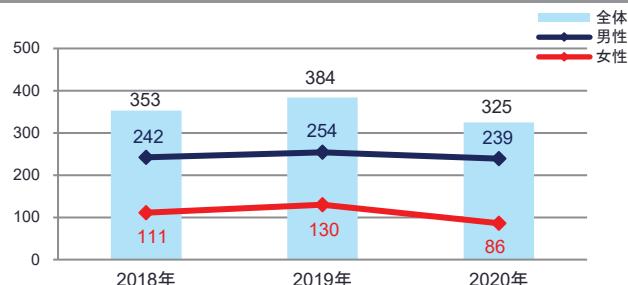
局在コード	部位名	登録数
C339	気管	0
C340	主気管支	10
C341	上葉・肺尖部	170
C342	中葉	11
C343	下葉	127
C348	肺の境界部病巣	0
C349	肺NOS (7~9)	



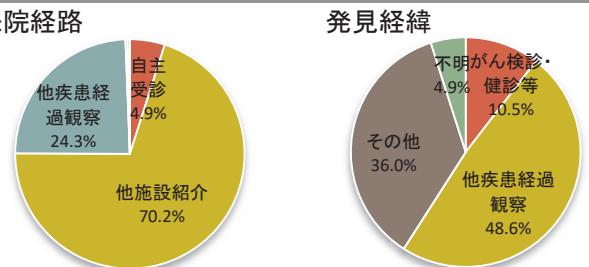
7. 病期分類対象の癌腫別登録数

組織分類	登録数
非小細胞癌	300
小細胞癌	24

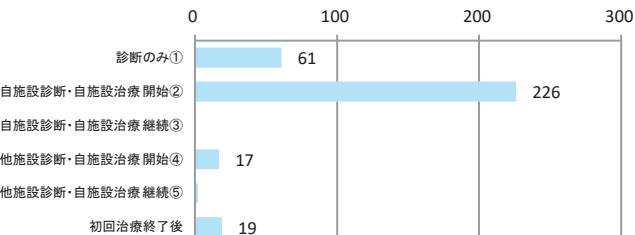
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



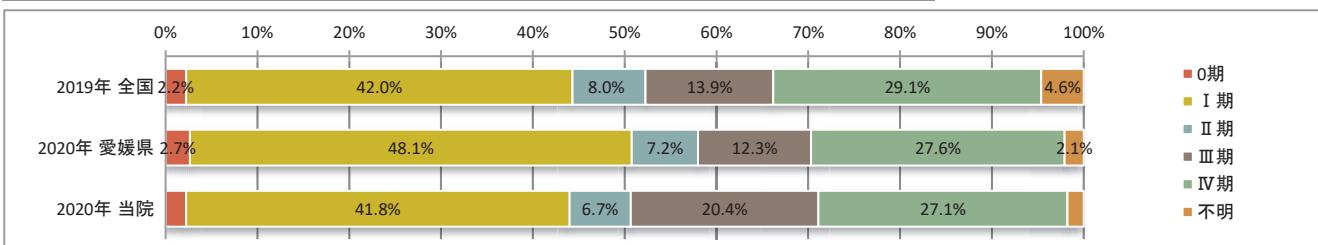
6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	245	75.4%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	287	88.3%

8. UICC TNM 非小細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(4~6)	94	15	46	61	(4~6)	225
割合	--	41.8%	6.7%	20.4%	27.1%	--	



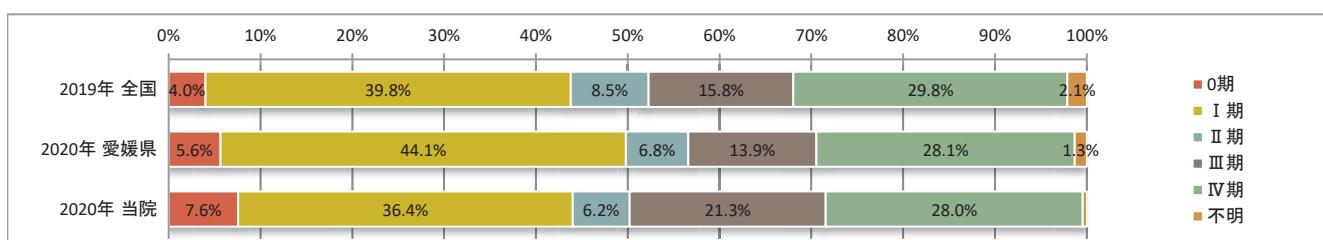
9. UICC TNM 非小細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後	合計
件数	17	68	(7~9)	(4~6)	(4~6)	0	(1~3)	104
割合	16.3%	65.4%	--	--	--	--	--	
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明		
件数	0	0	0	(1~3)	0	0		
割合	--	--	--	--	--	--		

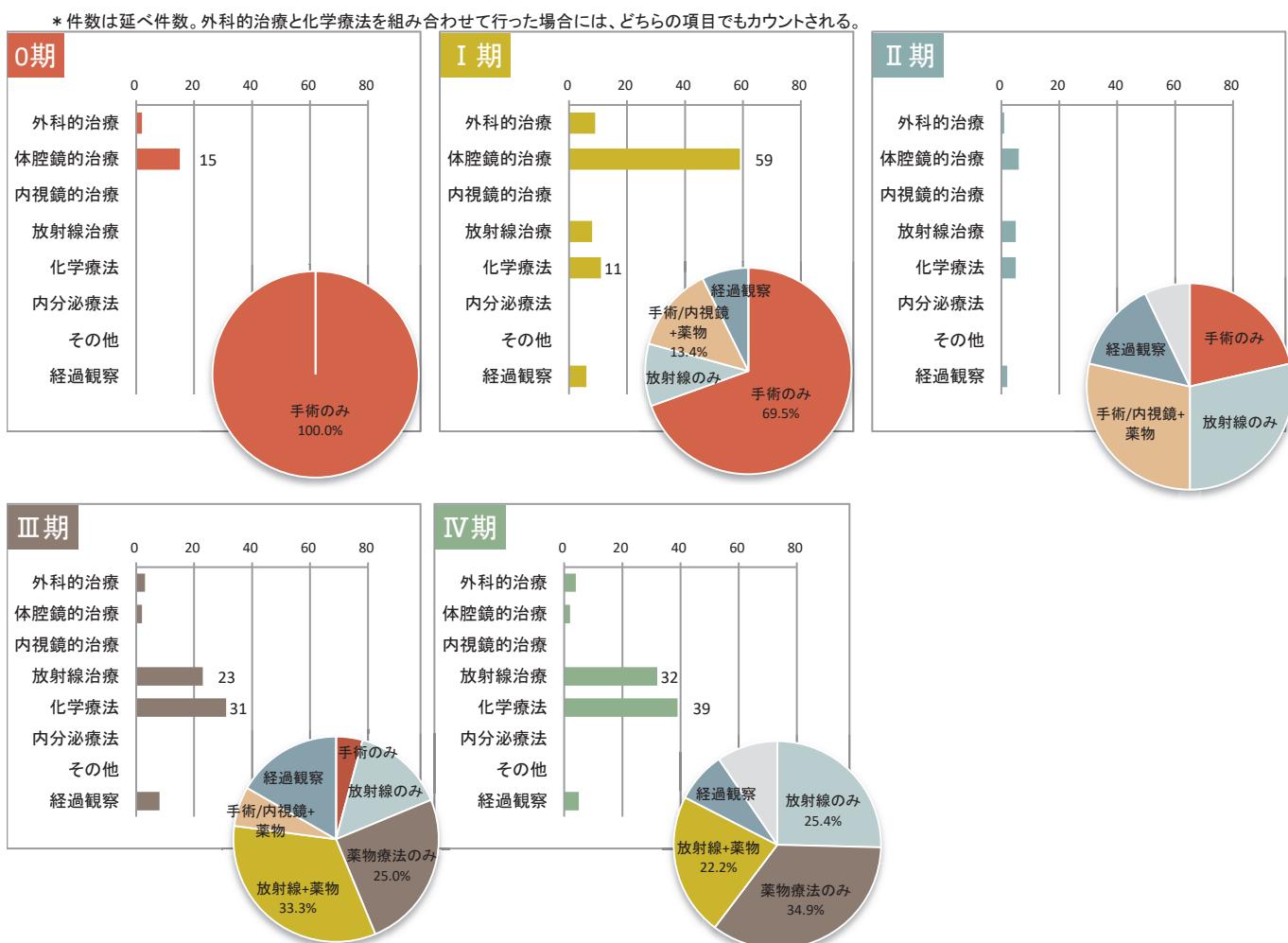


10. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	17	82	14	48	63	(1~3)	225
割合	7.6%	36.4%	6.2%	21.3%	28.0%	--	



11. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>



7-5. 部位別:乳房

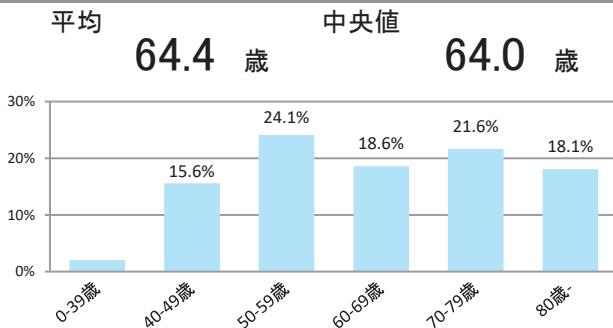
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	199
男性	(1~3)
女性	197



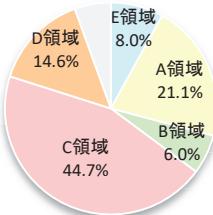
当院全登録数に占める乳がんの割合 8.4%

3. 年齢

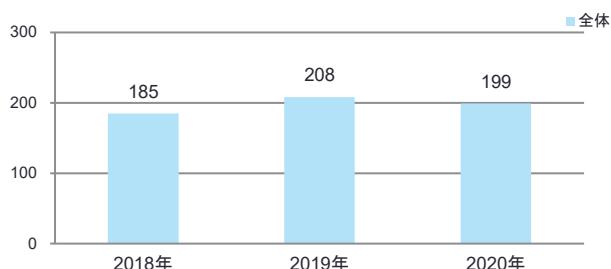


5. 詳細部位別登録数

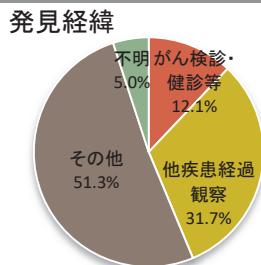
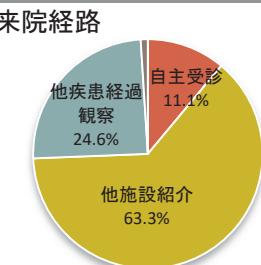
局在コード	部位名	登録数
C500	E'(乳頭部)領域	(1~3)
C501	E(乳輪部)領域	15
C502	A領域	42
C503	B領域	12
C504	C領域	89
C505	D領域	29
C506	C'領域	0
C508	境界部病巣	0
C509	乳房NOS	11



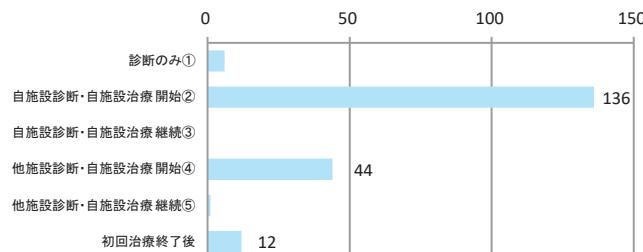
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



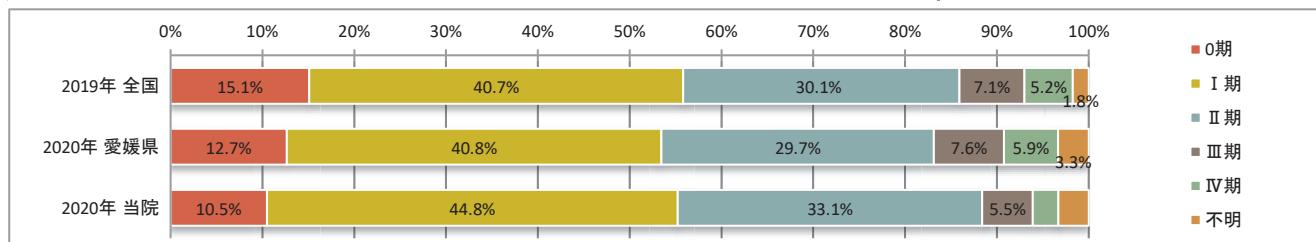
6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	181	91.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	142	71.4%

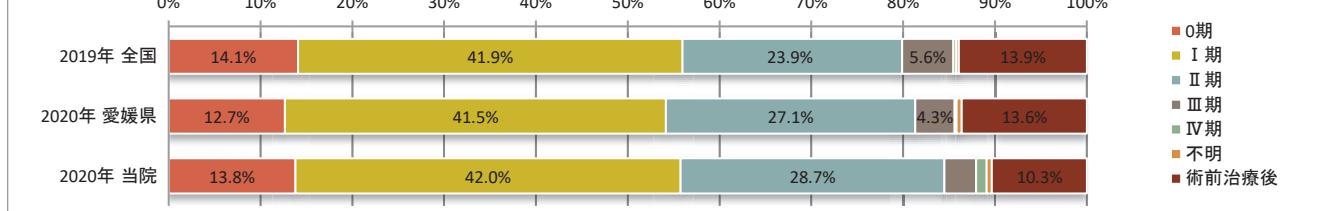
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	19	81	60	10	(4~6)	(4~6)	181
割合	10.5%	44.8%	33.1%	5.5%	--	--	



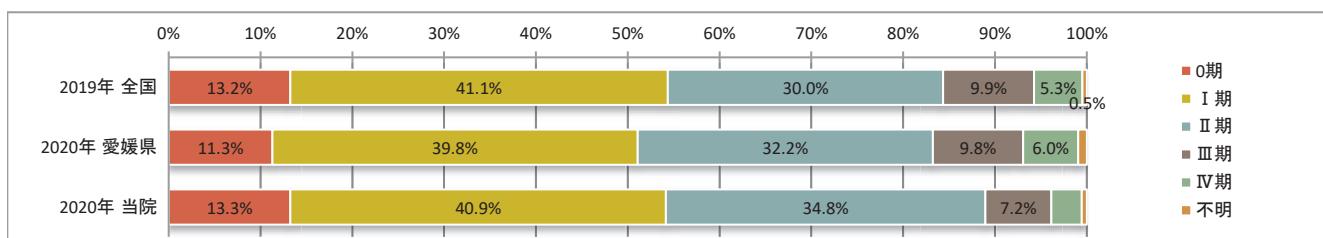
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	24	72	50	(4~6)	(1~3)	(1~3)	18
割合	13.8%	41.4%	28.7%	--	--	--	10.3%
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
件数	0	(1~3)	0	0	0	0	174
割合	--	--	--	--	--	--	



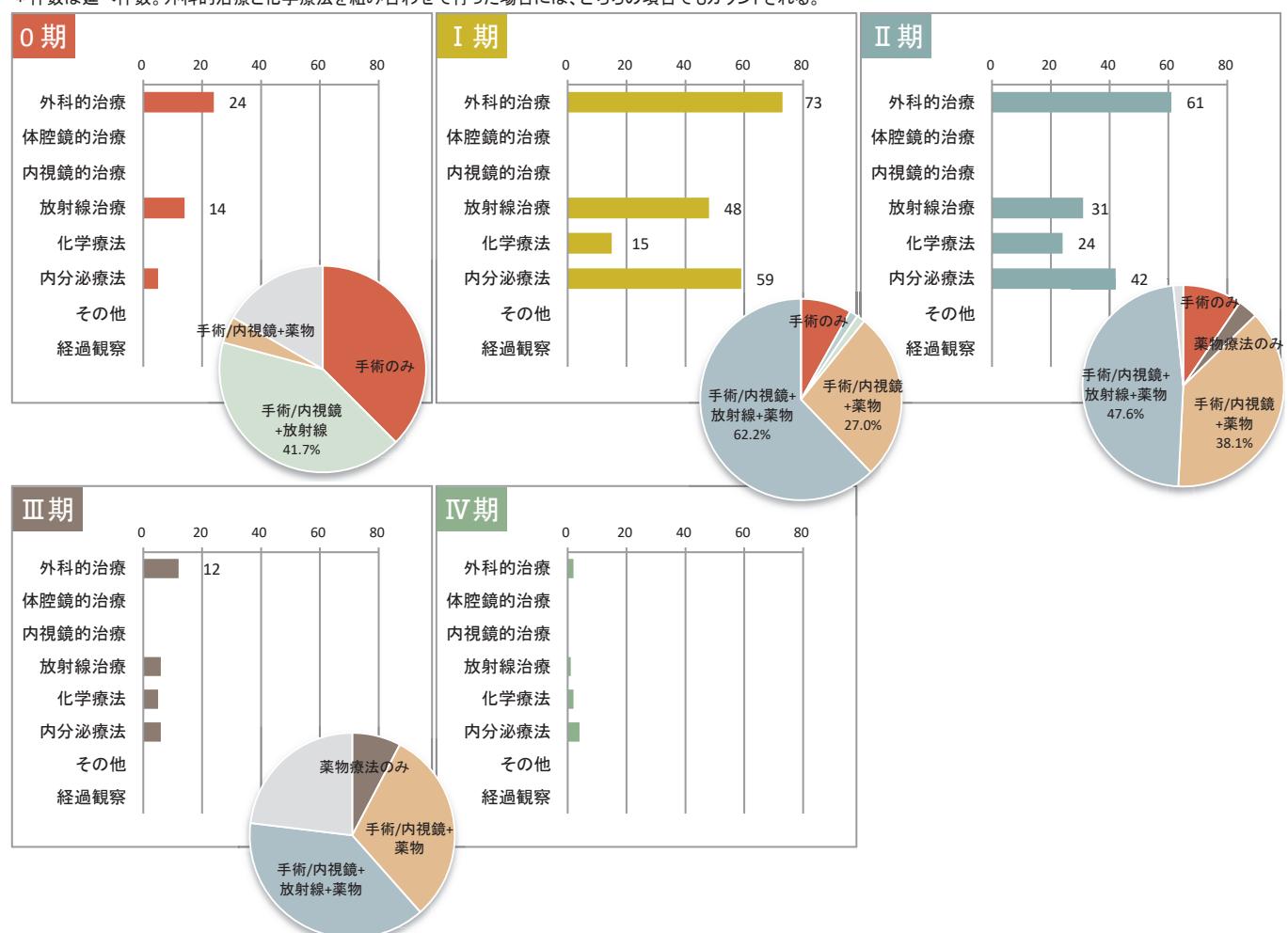
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
	件数	24	74	63	13	(4~6)	181
割合	13.3%	40.9%	34.8%	7.2%	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



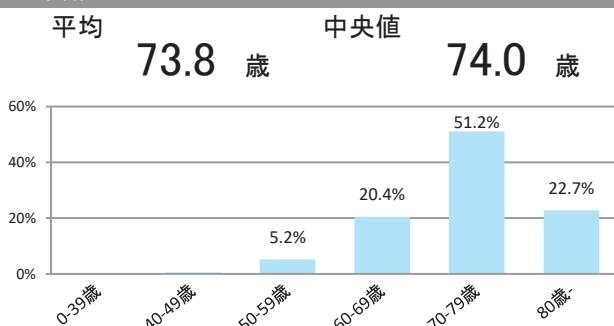
7-6. 部位別: 前立腺

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	211

当院全登録数に占める前立腺がんの割合 8.9%

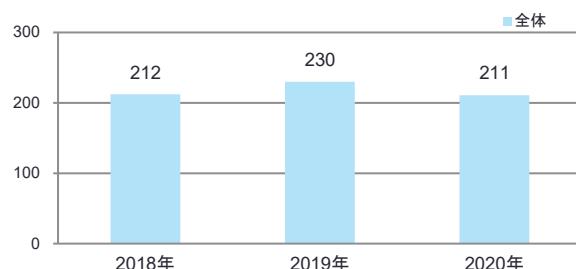
3. 年齢



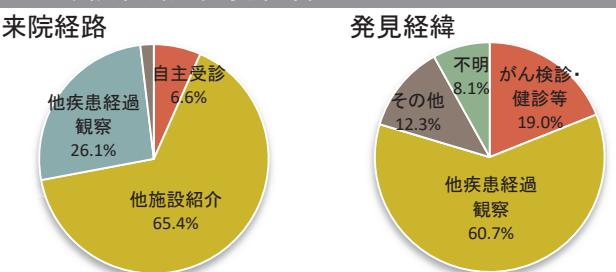
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C61.9	前立腺	211

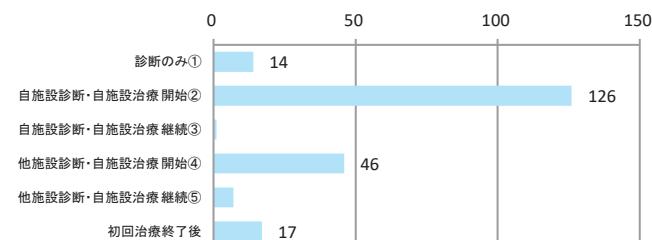
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



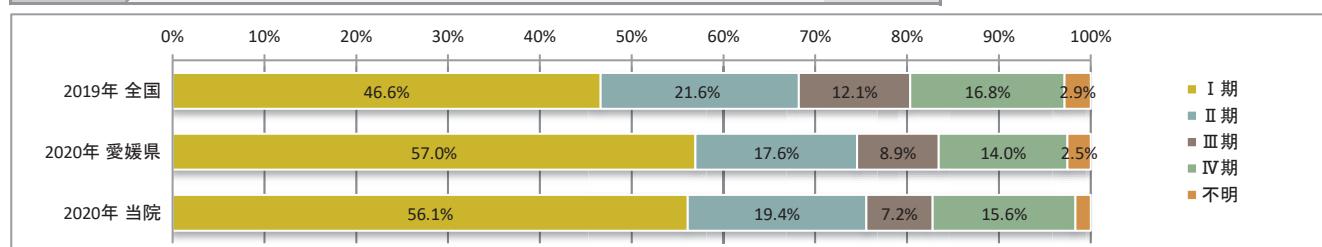
6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	180	85.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	141	66.8%

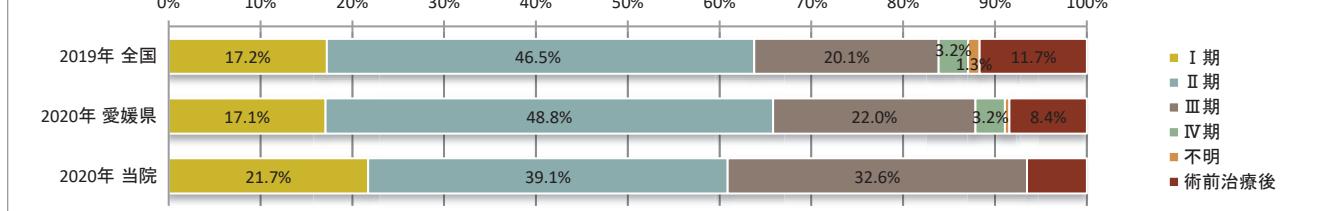
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	I 期					II 期		III 期		IV 期		不明		合計
	件数	101	35	13	28	(1~3)	180							
割合	56.1%	19.4%	7.2%	15.6%	--									



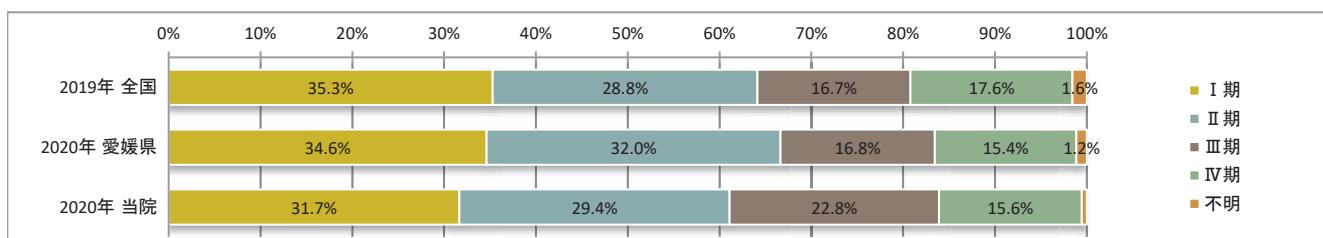
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	I 期					II 期		III 期		IV 期		不明		術前治療後
	件数	20	36	30	0	0	(4~6)							
割合	21.7%	39.1%	32.6%	--	--	--	--							
件数	(他) I 期	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明	合計								92
割合	--	--	--	--	--									



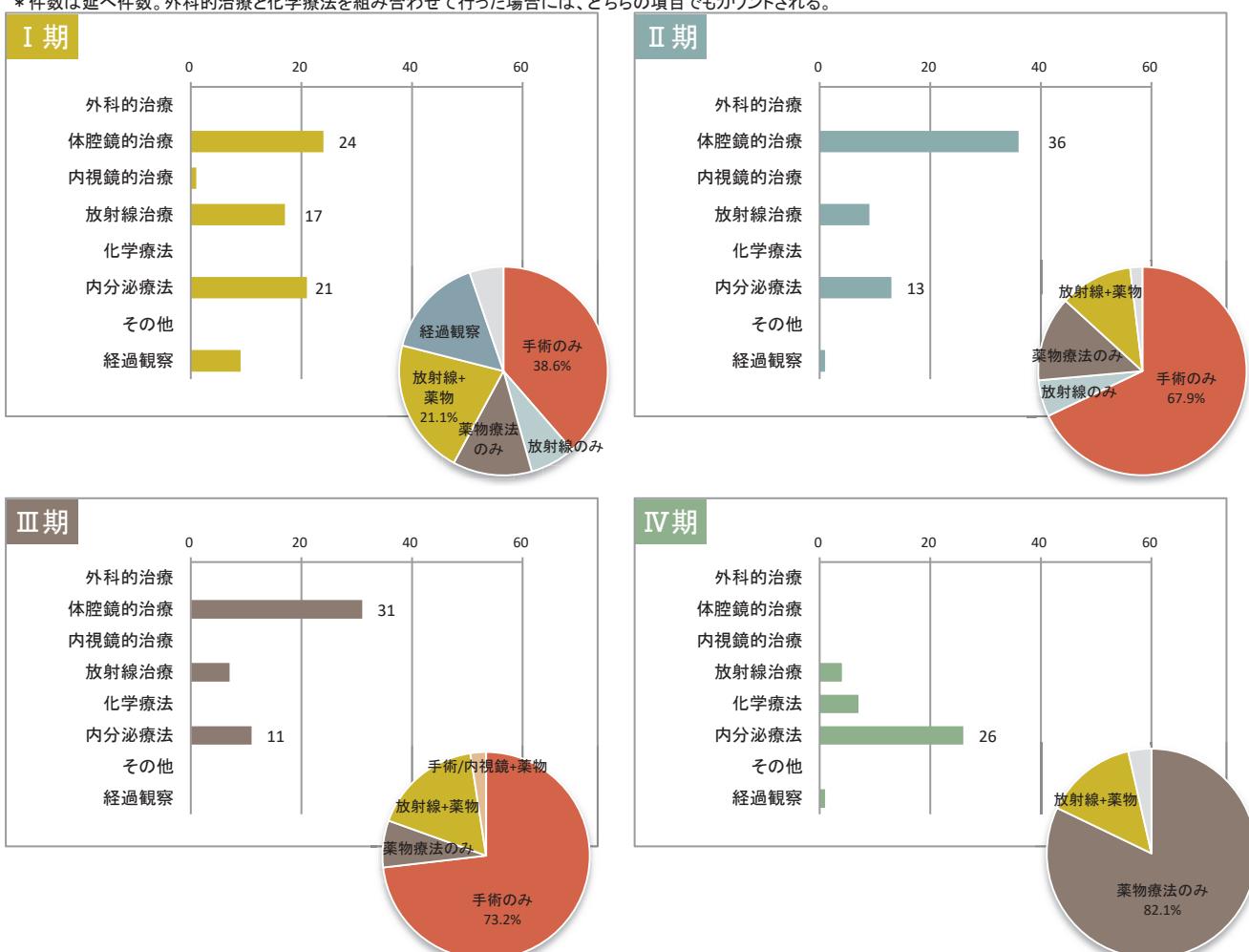
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	合計					
	I期	II期	III期	IV期	不明	件数
件数	57	53	41	28	(1~3)	180
割合	31.7%	29.4%	22.8%	15.6%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



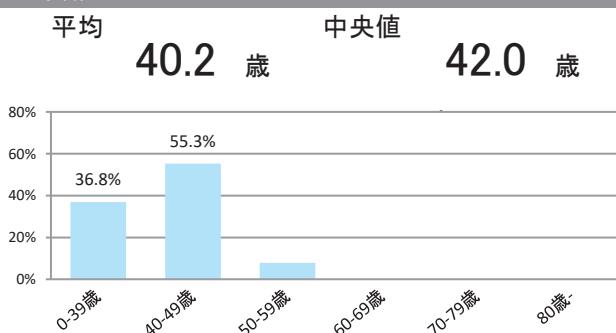
7-7. 部位別:子宮頸部

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	38

当院全登録数に占める子宮頸がんの割合 1.6%

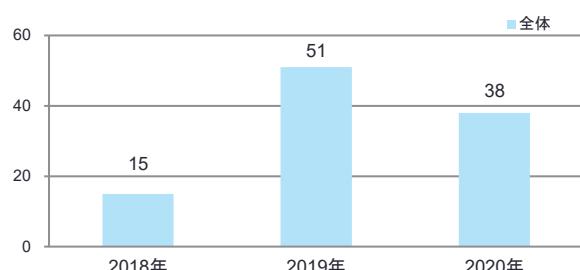
3. 年齢



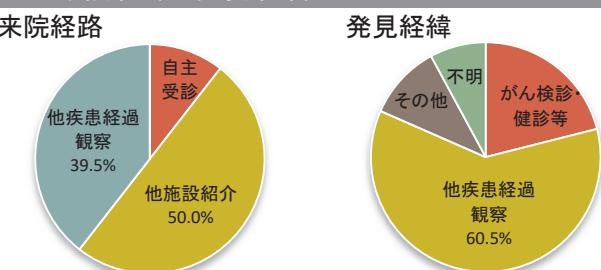
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C530	内頸部	0
C531	外頸部	0
C538	頸部境界部	0
C539	頸部詳細不明	38

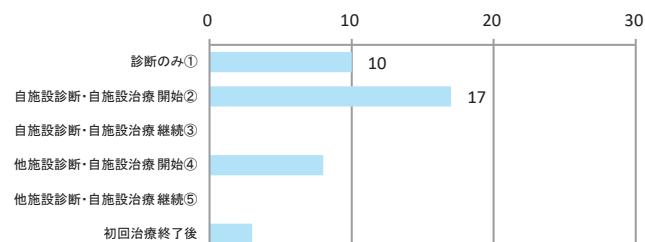
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



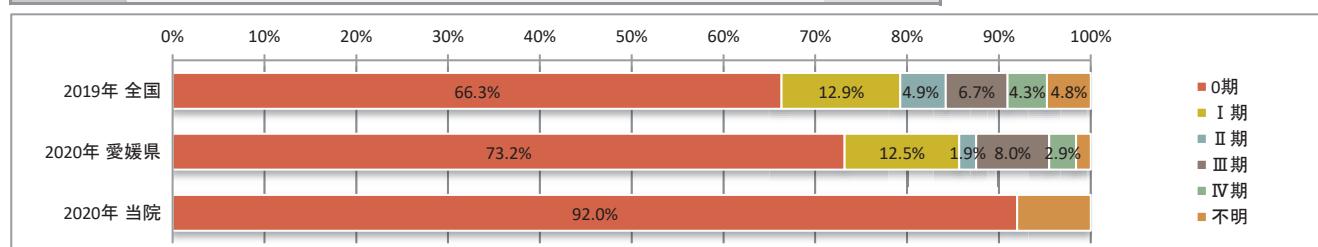
6. 症例区分



症例区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	25	65.8%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	27	71.1%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	23	0	0	0	0	(1~3)	25
割合	92.0%	--	--	--	--	--	



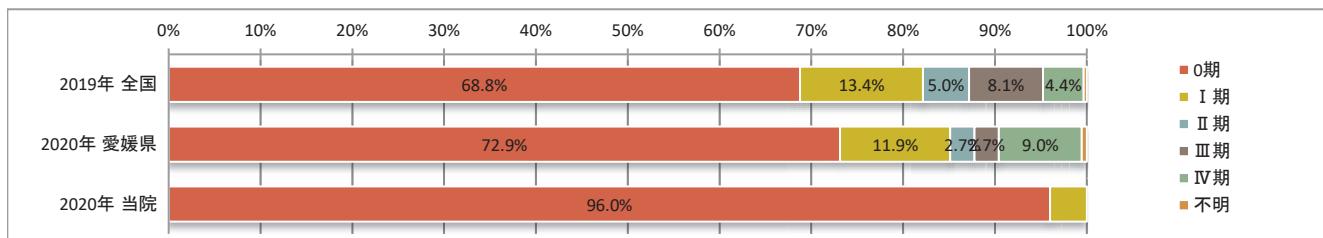
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	19	(1~3)	0	0	0	0	0
割合	95.0%	--	--	--	--	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
件数	0	0	0	0	0	0	20
割合	--	--	--	--	--	--	



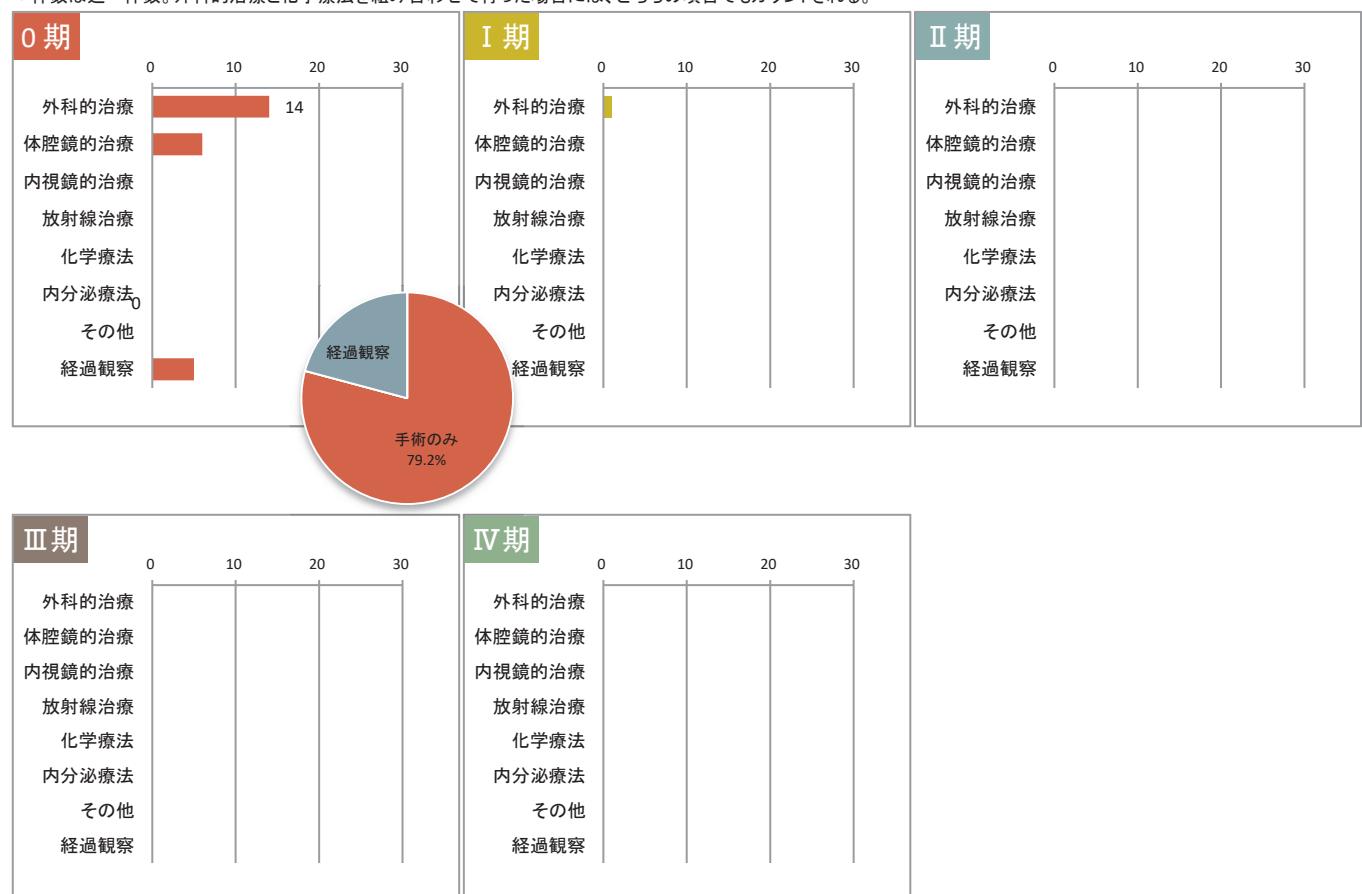
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	24	(1~3)	0	0	0	0	25
割合	96.0%	--	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



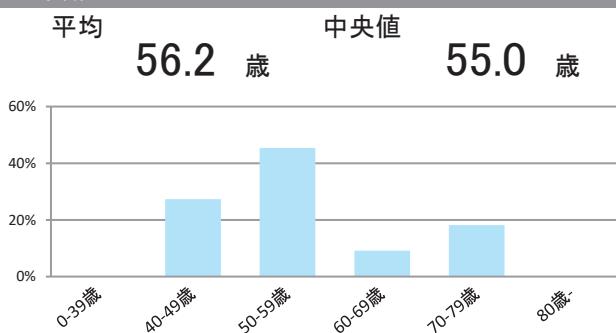
7-8. 部位別: 子宮体部

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	11

当院全登録数に占める子宮体がんの割合 0.5%

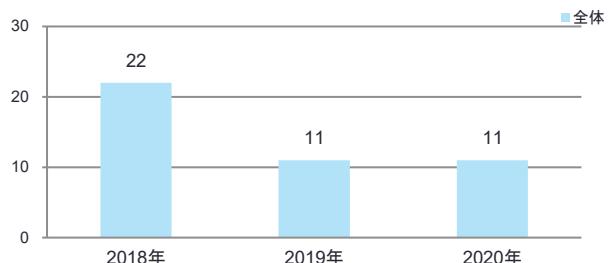
3. 年齢



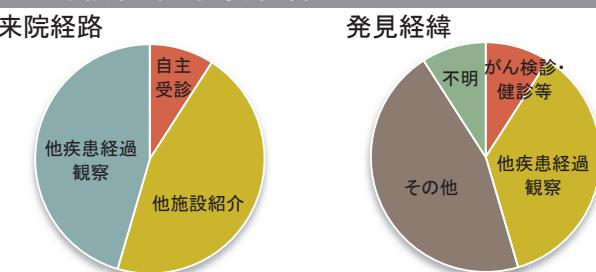
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C540	子宮峡部	0
C541	子宮内膜	10
C542	子宮筋層	0
C543	子宮底部	0
C548	体部境界部	0
C549	体部詳細不明	(1～3)

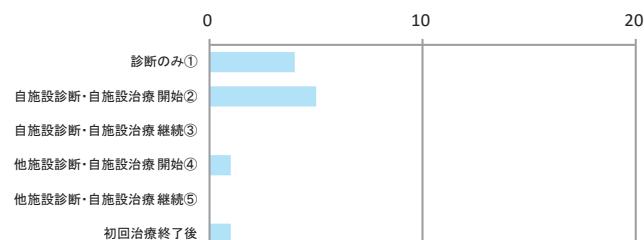
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯

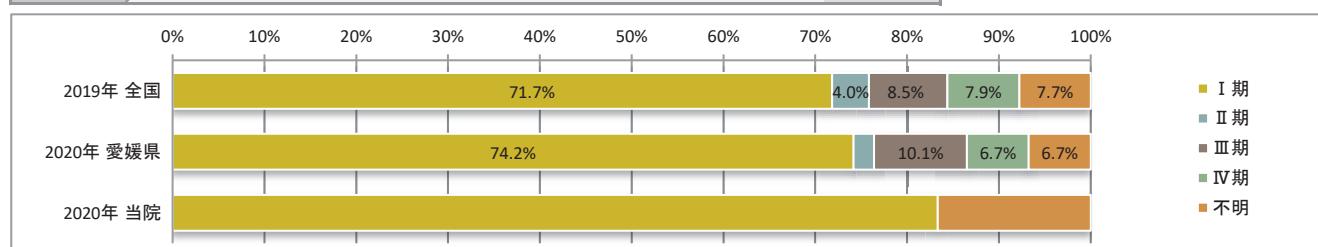


6. 症例区分



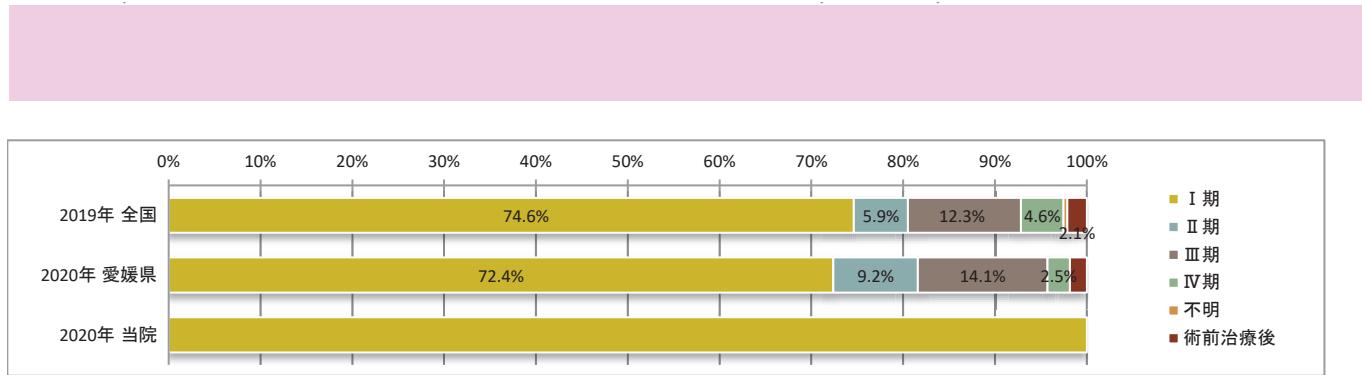
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年 件数 割合	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
	(4～6)	0	0	0	(1～3)	(4～6)
--	--	--	--	--	--	--



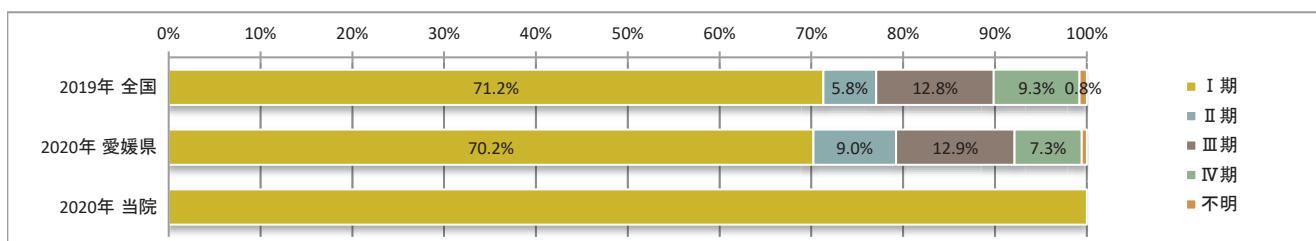
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年 件数 割合	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後	合計 (4～6)
	(4～6)	0	0	0	0	--	
(他) I 期	0	0	0	0	0	--	(4～6)
	--	--	--	--	--	--	



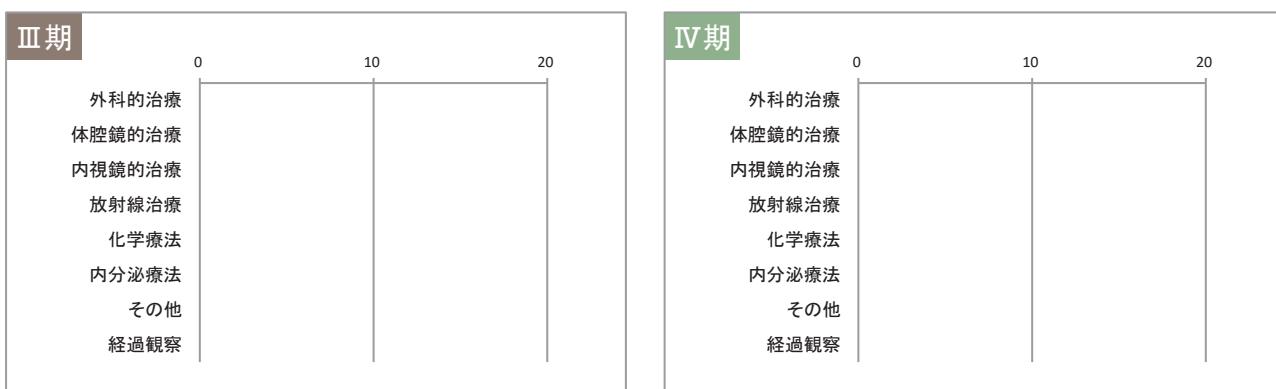
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
	件数 (4~6)	0	0	0	0	(4~6)
割合	--	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

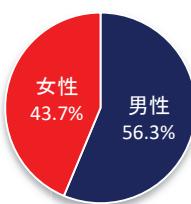
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-9. 部位別: 血液腫瘍

1. 登録数と男女割合

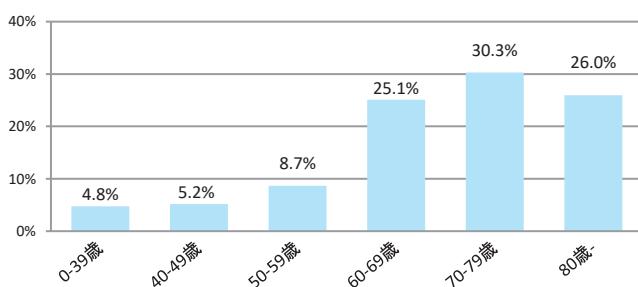
登録数	
全体	231
男性	130
女性	101



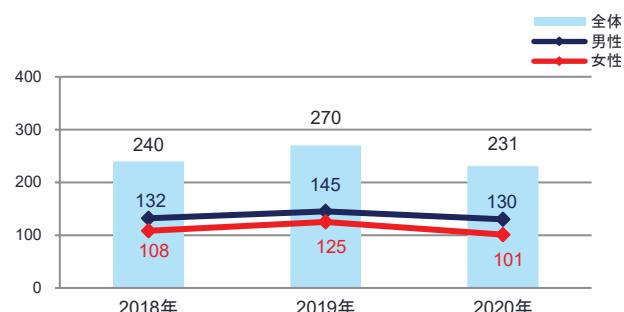
当院全登録数に占める血液腫瘍の割合 9.7%

3. 年齢

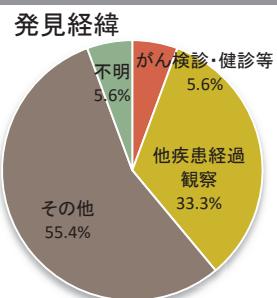
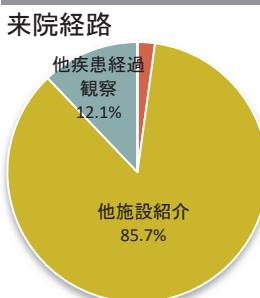
平均 69.0 歳 中央値 72.0 歳



2. 登録数の年次推移

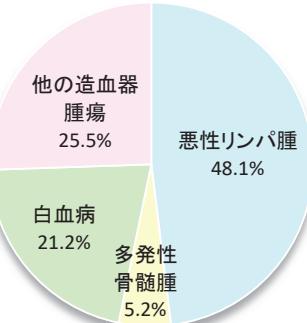


4. 来院経路と発見経緯



5. 分類別登録数

	2018年	2019年	2020年
悪性リンパ腫	95	117	111
多発性骨髓腫	35	27	12
白血病	64	59	49
他の造血器腫瘍	46	67	59

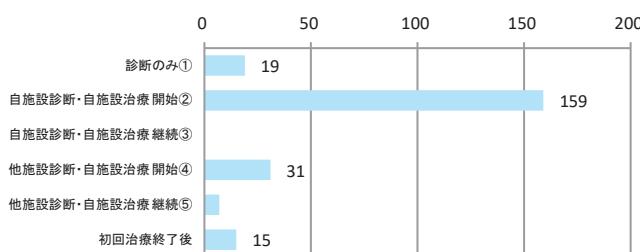


2020年分類別登録の割合

6. 詳細組織形態別登録数(WHO2017)

WHO2017に基づく分類		2018年	2019年	2020年
骨 髓 系 腫 瘍	骨髓増殖性疾患、肥満細胞症	23	24	18
	骨髓異形成・骨髓増殖性腫瘍・骨髓異形成症候群	33	51	47
	急性骨髓性白血病及び関連前駆細胞腫瘍	36	32	21
	分化系統不明瞭な急性白血病	0	(1~3)	0
	その他骨髓系腫瘍	0	0	0
リ ン パ 系 腫 瘍	前駆型リンパ球系腫瘍	(7~9)	10	(7~9)
	成熟B細胞腫瘍	81	104	89
	形質細胞腫瘍	32	24	12
	成熟T細胞およびNK細胞腫瘍	15	18	22
	ホジキンリンパ腫	(4~6)	(4~6)	(4~6)
その他リンパ系腫瘍		(4~6)	(1~3)	(4~6)
組織球及び樹状細胞腫瘍		0	0	(1~3)
その他(上記で分類できないもの)		0	0	0

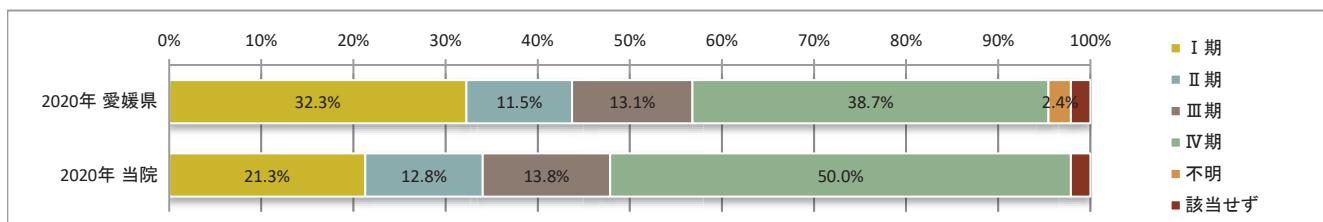
7. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	197	85.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	178	77.1%

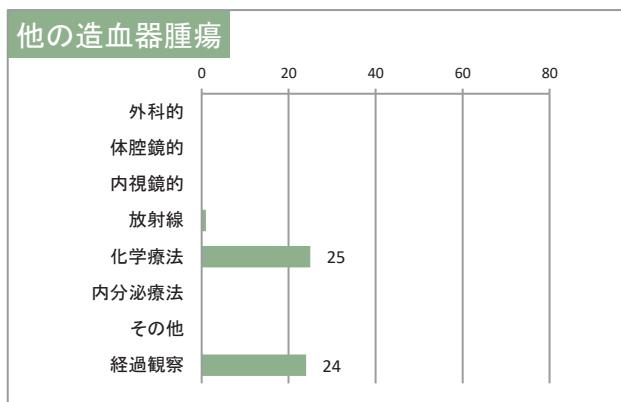
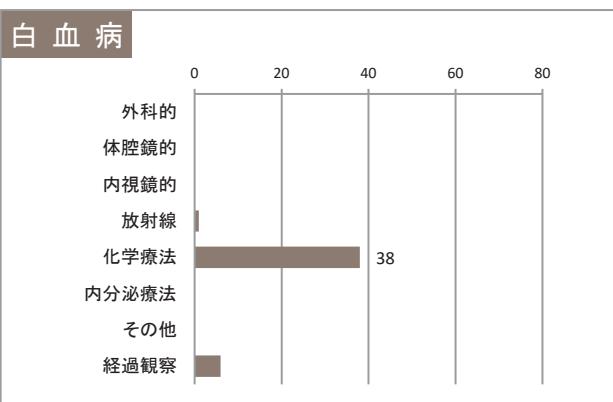
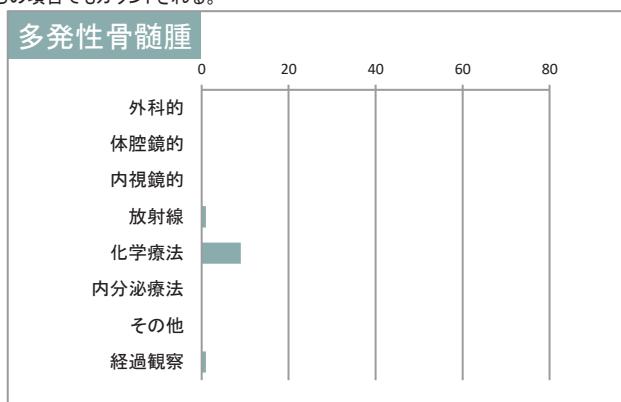
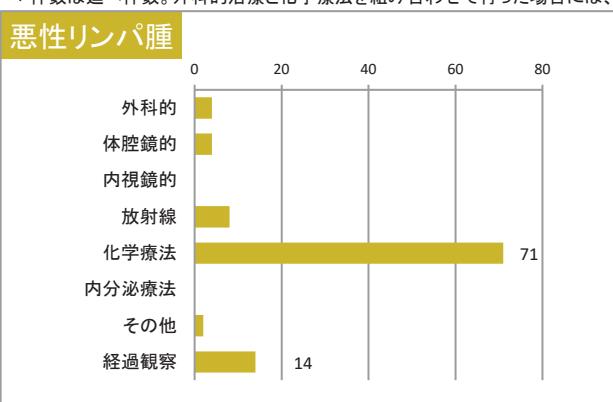
8. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、悪性リンパ腫のみ>

年	UICC TNM 治療前ステージ別登録						合計
	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	
件数	20	12	13	47	0	(1～3)	94
割合	21.3%	12.8%	13.8%	50.0%	--	--	



9. 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



説明ポイントの解説

説明ポイント①

登録件数は減少した。

2020 年症例の登録件数（症例区分 80 を含む）は、前年より 299 件減少した（2,757 件→2,458 件）。

症例区分 80 を除いた件数も 297 件減少した（2,678 件→2,381 件）。特に減少した部位は肺・胃・大腸である。

当院の入院・外来の患者数も 1 割程度減少しており、新型コロナウイルス感染症による一部の診療制限等の影響を受けた可能性が考えられる。

説明ポイント②

当院は大腸・肺の登録件数が多い。

当院の大腸の登録件数は愛媛県全体の 18.3%（341 件/1,861 件）、肺の登録件数は愛媛県全体の 19.2%（325 件/1,695 件）を占める。

2020 年症例では大腸と肺の順位が逆転したが、2016 年以降、当院の登録件数の上位 2 部位である。

説明ポイント③

「他施設診断・自施設治療開始」の割合が高い。

愛媛県全体・全国と比較して、「他施設診断・自施設治療開始」の割合が高い（当院：21.7%、愛媛県全体：18.4%、全国：18.4%）。

部位別では、胃・大腸でその傾向が強く

見られる。他施設で生検後、治療目的に紹介される症例が比較的多いと推察される。

説明ポイント④

「自施設責任症例」の割合が高い。

愛媛県全体と比較して、「自施設責任症例」の割合が高い（当院：86.1%、愛媛県全体：82.2%）。治療施設として当院が選択されていることを示している。

説明ポイント⑤

担当医療圏で約 9 割を占める。

2019 年同様、当院の担当医療圏である「松山圏域」・「八幡浜・大洲圏域」の症例が 88% を占める。

説明ポイント⑥

肺・血液腫瘍は担当医療圏域外からの来院が多い。

肺は他の部位に比べて、「新居浜・西条圏域」・「今治圏域」・「宇和島圏域」からの来院が多い。県内の診療体制の影響が考えられる。

血液腫瘍は他の部位に比べて、「新居浜・西条圏域」・「今治圏域」からの来院が多い。造血幹細胞移植推進拠点病院として、血液腫瘍の専門医療機関の役割を担っているものと思われる。

説明ポイント⑦

60 歳代の登録件数が減少した。

2019 年と比較して、60 歳代の登録件数が

男女ともに大きく減少した（669 件→532 件）。部位別では、肺・大腸・乳房が特に減少している。

愛媛県全体でも 60 歳代の登録件数の減少が男女ともに著しい。

説明ポイント⑧

50 歳代男性と 40 歳代女性の登録件数が増加した。

2019 年と比較して、50 歳代男性の登録件数が増加し（128 件→141 件）、40 歳代女性の登録件数も増加した（96 件→106 件）。他の年齢階級は減少または横ばいの中で、増加していることは珍しい。

説明ポイント⑨

「他施設紹介」・「自主受診」の登録件数が減少した。

2019 年と比較して、「他施設紹介」の登録件数が減少した（2,059 件→1,781 件）。

肺のⅠ期・胃のⅠ期・大腸のⅠ期が特に減少しており、新型コロナウイルス感染症による内視鏡検査等の制限と関係があるのかもしれない。

「自主受診」の登録件数も減少した（145 件→92 件）。

説明ポイント⑩

「他疾患経過観察中」の登録件数が増加した。

2019 年と比較して、「他疾患経過観察中」の登録件数が増加した（463 件→498 件）。

乳房・前立腺では「他疾患経過観察中」が増加し、「自主受診」が減少した。

説明ポイント⑪

「がん検診・健康診断・人間ドック」

での発見の割合が低くなった。

2019 年と比較して、「がん検診・健康診断・人間ドック」での発見の割合が低くなかった（12.0%→10.9%）。

愛媛県全体でも同様の傾向である（12.0%→9.9%）。

当院では特に 60 歳代男性・50 歳代女性で減少している。

説明ポイント⑫

大腸・乳房・血液腫瘍は「その他」の割合が高く、肝臓・前立腺は「他疾患経過観察中」の割合が高い。

大腸・乳房・血液腫瘍は他の部位に比べて「その他」の割合が高く、自覚症状からの受診が多いことを示している。

肝臓・前立腺は「他疾患経過観察中」の割合が高い。慢性肝疾患や前立腺肥大等の経過観察中に発見されるものも多い。

これらはその部位の特徴とも言える。